

- (ニ) 文科系專門部ノ入學定員ハ從來ノ入學定員ノ概ネ二分ノ一程度トス
文科系濼科ノ入學募集ヲ行ハザル大學ノ專門部及大學ヨリ轉換シタル專門學校ノ入學定員ハ右ニ拘ラズ從
來ノ濼科及專門部ノ入學定員ノ概ネ二分ノ一程度ト爲スコトヲ得ルモノトス
- (ホ) 文科系大學及專門部ニシテ理科系專門學校ヘ轉換可能ノモノニ付テハ之ガ實現ヲ圖ルモノトス
右ノ大學ニ付テハ現ニ在籍スル學生生徒ノ卒業スル迄ハ之ヲ存置スルモノトスルモ必要ニ應ジ其ノ學生生
徒ノ教育ヲ他ノ大學ニ委託スルモノトス
- (イ) 文科系大學及專門部ノ學生生徒ノ教育ニ付テハ授業上ノ關係並ニ防空上ノ見地ニ基キ必要アルトキハ
之ヲ他ノ大學及專門部ニ委託スルモノトス
- (三) 國庫補助

- (イ) 理科系大學及專門部ノ擴充又ハ文科系大學及專門部ノ理科系專門學校ヘノ轉換ニ要スル經費ニ對シテ
ハ國庫ヨリ適當ナル補助ヲ爲スモノトス
- (ロ) 理科系大學學部及專門部並ニ統合シタル文科系大學學部及濼科ノ經常費ニ對シテハ國庫ヨリ適當ナル
補助ヲ爲スモノトス
- (ハ) 教育ノ委託ヲ受ケタル大學及專門部ニ對シテハ其ノ經理上必要アリト認メタルトキハ其ノ經常費ニ付
國庫ヨリ適當ナル補助ヲ爲スモノトス
- (ニ) 文科系大學及大學ヨリ轉換シタル專門學校ニ付テハ精神科學ノ研究ヲ繼續セシムル爲其ノ研究施設ニ
要スル經費ニ對シ國庫ヨリ適當ナル補助ヲ爲スモノトス
- (ホ) 文科系大學、濼科及專門部ノ教職員ニシテ本措置ニ伴ヒ退職スル者ニ付テハ設立者ニ於テ支給スベキ
職業轉換資金及退職金ニ對シ國庫ヨリ適當ナル補助ヲ爲スモノトス

備考

- (一) 本措置ニ伴フ學校校舍ノ處置ニ付テハ別途速ニ之ヲ定ム
- (二) 女子教育ニ關シテハ別途考究ス

女子專門學校教育刷新 (十九年一月十日發表)

一、學 科

女子專門學校本科ノ種別ヲ左ノ十三科ニ統整シタルコト

- 一、家 政 科 育兒科、保健科及被服科ニ分ツ
- 一、文 科 國語科、歴史科、地理科及外國語科ニ分ツ
- 一、理 科 數學科、物理化學科及生物科ニ分ツ
- 一、醫 學 科 醫學科及齒科醫學科ニ分ツ
- 一、藥 學 科
- 一、厚 生 科
- 一、工 業 科
- 一、農 業 科
- 一、經 濟 科
- 一、法 律 科
- 一、體 育 科

一、音樂科

二、美術科

女子專門學校ニ於テハ前項ノ學科或ハ分科ノ内ニ以上ヲ置キ得ルコト
特別ノ必要アルトキハ前項ニ掲グル以外ノ學科ヲ特ニ置キ得ルコトアルコト

一、學科課程

女子專門學校標準學科課程ハ概ネ別紙ノ如シ、但シ各學校ニ在リテハ學科課程編成上左記事項ヲ留意スルコト

- (1) 學科課程編成ニ當リテハ修業年限ヲ原則トシテ三年トスルコト(但シ醫學科ヲ除ク)
- (2) 特別ノ必要ニヨリ修業年限ヲ異ニスルモノノ學科課程ニ付テハ右ニ準ジテ編成スルコト
- (3) 何レノ學科ニ在リテモ共通學科目及修練ハ必ズ之ヲ課スルコト
- (4) 學科課程中ノ「増課」ニ於テハ土地ノ情況、學校ノ種類等ニ依リ學校毎ニ夫々學科目及其ノ時數ヲ定ムルコト
- (5) 本學科課程ハ年教授數ヲ三十五週トシテ編成ナルモ時局下勤務作業等ノ爲授業時數ノ減少ヲ生ズル場合ハ本學科課程ノ趣旨ヲ勘案シテ重點的ナル教育ヲ爲スコト
- (6) 每週一時ノ授業ニ付テハ科目ノ性質、授業ノ能率等ヲ考慮シテ適當ト認ムルトキハ之ヲ編メテ實施シ得ルコト

一、學科課程編成上留意セル點

- 1、皇國民トシテノ自覺ヲ益々昂揚シ女子本來ノ責務ヲ明ナラシメ母トシテノ強靱ナル心身ノ育成ニ資セムルガ爲凡テノ學科ニ付左ノ如キ共通學科目ヲ設ケルコト
- (イ) 道義 每週一時以上トセルモ教職員養成ヲ爲ス學校ニ在リテハ凡テ二時トス

(ウ) 人文 國語科、歷史科、地理科、外國語科及經濟科以外ノ學科ニ於テハ每週二時トシ古典及歷史ヲ主タル内容トシテ之ヲ課ス

(ハ) 家政 每週一時以上ヲ課ス

(ニ) 體鍊 每週三時ヲ課ス

- 2、從來同種ノ學校又ハ學科ニ於テモ其ノ課セラルル科目ノ種別・配當時數區々ニシテ多岐ニ互リタルヲ以テ之ヲ整理統一スルト共ニ基礎的ナル專門的學科目ニ多クノ時數ヲ配當シタルコト
- 3、專門的學科目ノ特殊問題又ハ補助的學科目等ヲ授クル爲又ハ演習ヲ爲サシムル爲特ニ「増課」ヲ設ケ其ノ學科目及配當時數ハ土地ノ情況及學校ノ種類ニ依リテ之ヲ定メ得ルコト爲シタルコト
- 4、實踐的、綜合的ナル能力ヲ育成スル爲ニ實習及實地見學等ヲ重ンジ之等ノ必要アル學科ニ付テハ比較的多クノ時數ヲ配當シタルコト
- 5、教職員、保健婦、看護婦ノ資格檢定上ノ要求ヲ滿ス様考慮ヲ爲シタルコト

緊急學徒勤勞動員方策要綱 (十九年二月十八日發表)

第一方針

學徒勤勞動員ニ關シテハ曩ニ決定セル「學徒職時動員體制確立要綱」及教育ニ關スル職時非常措置方策」ノ趣旨ヲ更ニ徹底シ勤勞即教育ノ本旨ニ徹シ綜合的ナル學徒勤勞動員ヲ強力ニ實施シ職力増強ニ挺身セシムルト共ニ職局ノ現段階ニ處スベキ學徒ノ教育練成ヲ完カラシムルモノトス

第二要領

- 一 勤員學徒ヲ勤勞セシムベキ工場事業場ヲ特定シ通動距離、學校又ハ學科ノ種類、學徒ノ年齡及性別等ヲ考慮シ學校ト工場事業場トヲ緊結シ其ノ特定部署ニ對シ通年恒常循環的ニ學徒ヲ勤員スル如ク計畫ヲ樹立スルコト
- 二 學徒ノ勤員ハ學校ヲ基本トスル團體組織ニ依ルモノトシ當該學校ノ教職員指導ヲ中心トシテ之ヲ組織スルコト
- 三 學徒ノ從事スベキ工場、事業場ニ於ケル作業ハ學校又ハ學科ノ種類、學徒ノ年齡及性別ヲ勘案シテ之ヲ適正ナラシムルコト
- 四 同一學徒ヲ勤勞ニ勤員スル期間ハ差當リ一年ニ付概ネ四ヶ月ヲ標準トシ毎日繼續シテ之ヲ行フヲ立前トスルコト
- 尙學校又ハ學科ノ種類ニ依リテハ其ノ期間ヲ更ニ長期ナラシムルコトヲ考慮スルコト
- 五 狀況ニ依リ工場事業場ヲシテ學校ノ校地、校舍内ニ設備ヲ講ジ又ハ材料ヲ供給セシメ學校内ニ於テ學徒ヲシテ生産ニ從事セシムルコトニ付テモ方途ヲ講ズルコト
- 六 前各項ノ外學徒ノ勤員ニ關シテハ「學徒戰時勤員體制確立要綱」(昭和十八年六月二十五日閣議決定)ニ依ルコト
- 七 特ニ學徒勤員ノ運営ヲ圓滑ニシ且其ノ教育實踐ノ完壁ヲ期スル爲メ文部省(又ハ地方長官)ノ推薦ニ係リ教職員又ハ關係官吏ヲシテ軍需監理官又ハ勞務監理官ヲ兼任セシムルトキニ關係工場事業場ニ學徒專門ノ勤勞係員ヲ設置セシメ之ヲ文部省 又ハ地方廳)ノ囑託トシ工場事業場ニ於ケル學徒勤勞管理ノ徹底的刷新ヲ圖ルコト
- 八 學徒勤員ノ方法其ノ他必要ナル事項ニ付整備ヲ圖ルコト
- 九 學徒勤勞管理關係者ノ識見向上ノ爲速ニ講習其ノ他ノ必要ナル措置ヲ講ズルコト

商業專門教育刷新 (十九年一月三十一日發表)

學校轉換ニ付テハ教育ノ戰時非常措置ニ依リ、彦根、和歌山、高岡ノ三高等商業學校ハ各々所在地中等工業學校ノ施

設ヲ國ニ移管ノ上工業專門學校ニ轉換シ、彦根工業專門學校ハ機械科、化學工業科、建築科ノ三科、和歌山工業專門學校ハ機械科、電氣科、化學工業科、金屬工業科ノ四科トシ何レノ學校モ一年約一六〇名ヲ募集スル

次ニ長崎、名古屋、濱濱、東京商大專門部ノ四校ハ工業經營專門學校トイフ新シイ種類ノ學校ニ轉換スル見込デアル募集人員ハ何レモ約一五〇名デアル

工業經營專門學校設立ノ趣旨ハ時局下工業經營能率ノ増進ヲ圖ル事ハ極メテ肝要デアアルガ從來ノ經營擔當者ハ技術ニ理解ガ乏シク又技術者ニハ經營方面ノ知識才能ニ乏シク、之ガタメ經營能率ノ向上ヲ阻害シ生産ノ一ツノ隘路ヲナシテ居タ實情ニ鑑ミ、技術ニ對シテ十分ナ理解ヲ持テ近時問題ニナツテキル勤勞管理、作業管理、原價計算等ニ付テハ十分ナ智識技能ヲ持ツ優秀ナ工業經營擔當者ヲ養成セントスルニ在リ其ノ學科課程ハ別紙ノ如クデアアル

高等商業學校トシテ殘ルモノハ山口、小樽、大分、徳島、高松ノ五高等商業學校デアアルガ教育内容ヲ刷新シ名稱モ經濟專門學校ニ改メル見込デアル、募集人員ハ從來二百名乃至二七〇名デアッタモノヲ一率ニ約一五〇名ニ縮少シタ高等商業學校教育刷新内容ハ別紙ノ様デアアルガソノ要點ハ團體ノ本義ト大東亞共榮圈建設ノ大使命ヲ體シ、産業經營、配給、交易等ノ職分ヲ通ジテ皇運ヲ扶翼シ奉ルノ信念ヲ把握セシムル事ガ肝要デアツテ此ノ點ニ最モ留意シ且高等商業學校卒業者ノ大部分ガ工業經營ニ從事スル現狀ニ鑑ミ之ニ關スル學科目(例ヘバ工場管理・工場概論等)ヲ新ニ設ケ或ハ時數ヲ増加スル等ノ處置ヲ講ズルト共ニ商業學、經濟學ニ關スル學科目ニ付テハ特ニ理論ニ偏シ分科ニ過グルノ弊ヲ矯メ我國經濟ノ變革ニ即應シテ學科目ノ統合整備ヲナシタ次第デアアル

高等商業學校教育刷新內容

一、名稱

經濟專門學校ト改稱ス

經濟專門學校ハ專門學校令第一條ノ本旨ニ基キ經濟經營ノ指導者タルベキ者ヲ養成スルヲ以テ目的トシ左記事項ニ留意シテ生徒ヲ教育スベシ

- 一 國體ノ本義ニ徹シ世界ニ於ケル皇國ノ使命ヲ體得シテ至誠盡忠皇運ヲ扶翼シ奉ルベキ人材ヲ鍊成スベシ
- 二 皇國經濟ノ眞義ヲ體得シ產業經營ノ國家的任務ヲ確認シ職域奉公ノ信念ト實踐力トヲ涵養スベシ
- 三 生産ト消費トノ連絡調和ヲ圖リ皇國經濟ノ圓滑ナル運行ニ資スル配給機能ノ國家的意義ヲ自覺セシムベシ
- 四 大東亞共榮圈ノ確立ニ寄與スル交易ノ重要性ヲ明ニシ海外發展ノ精神ヲ發揚スベシ
- 五 修文練武學行一體ヲ以テ堅忍不撓ノ體力氣力ヲ鍊磨シ創造工夫ノ能力ヲ育成スベシ

學科課程編成ニ當リ特ニ留意セル事項

- 一 皇國臣民トシテノ自覺ヲ昂ムル爲ニ教科内容ノ改善ヲ圖リタルコト
- 二 學科目ノ統合整備ヲナシ基本的ナル學力ノ涵養ヲ目指シタルコト
- 三 戰時學徒動員體制ニ應ヘンガ爲ニ學科目編成並ニ時間配當ニ意ヲ用ヒタルコト
- 四 生徒ノ理解力ニ應ズルヤウ學科目ノ學年配當ヲ工夫按配シタルコト
- 五 商業學及經濟學ニ關スル學科目ニ付テハ特ニ理論ニ偏シ分化ニ過グルノ弊ヲ矯メ我國經濟ノ變革ニ即應シテ學科目ノ改廢統合ヲナシタルコト
- 六 戰力増強ノタメ工業經營能率増進ノ要請強キニ鑑ミ之ニ關スル學科目ノ擴充刷新ヲナシタルコト

(ロ) 工業經營者タルニ須要ナル工業技術ニ關ル理解ヲ深カラシムル爲工業概論ノ時數ヲ増加シ其ノ内容ヲ改メタルコト

- 七 科學精神ヲ涵養シ工業概論ノ學習ヲ容易ナラシムル爲數學及物理化學ヲ重視シタルコト
- 八 大東亞建設ノ指導者タルニ必要ナル氣魄ト識見ヲ養フ爲教授ト修練トニ一層ノ改善ヲ加ヘタルコト
- 九 實踐的綜合的ナル能力ヲ育成スル爲ニ實習ヲ重シ研修ノ中ニ適當ナル事項ヲ設ケタルコト
- 一〇 學徒ノ體力増進ヲ圖リ且國防能力ノ強化ニ資スル爲教科ノ教授ヲ簡素要約スルト共ニ體練ノ時數ヲ増加シ之ニ戰技訓練等ヲ加ヘタルコト

中等學校教育内容ノ戰時措置ノ要項 (十九年二月九日發表)

戰時非常措置方策ニ基キ中等學校教育ヲシテ戰時下國家ノ要請ニ即應セシムルコトノ緊要ナルニ鑑ミテ本年四月ヨリ實施ノ新制度中等學校教育ノ本旨ヲ一層徹底セシムルト共ニ更ニ左記事項ニ關スル措置ヲトルコトトシタノデアアルガ其ノ大要ハ左ノ通りデアアル

- 一 中等學校全般ニ亘リ特ニ精神訓練ノ徹底、國防訓練ノ強化、生産ノ増強、職業指導ノ徹底ヲ期スルコトトシ女子中等學校ニ於テハ更ニ國民保健就中救急看護ノ訓練ノ強化ヲ圖ルコト
- 二 右ノ方針ニ依ツテ措置セル事項
 - イ、男子中等學校ノ全般ニ亘リ國防訓練ヲ重視スルト共ニ特ニ高學年ノ定時ノ修練ノ時數ヲ増加シ航空・艦船・通信・機甲・氣象等軍事ニ關スル科學及科學的技術ノ徹底ヲ期スルコト
 - ロ、中學校ノ高學年ニ於ケル藝能科各科目ノ選擇履修ヲ廢止シ工作ヲ課スルコトトスルト共ニ進學進職指導ノ徹底

ヲ期シ外國語ヲ履修セザル者ニ課スル實業科ハ工業又ハ農業トシ其ノ内容ヲ強化シ時局ノ要請ニ即應セシムルコト

ハ、實業學校ノ課程ニ於テ比較的の自由ニ使用シ得ル増課時數ハ之ヲ實業科就中時局下最モ緊要ナル科目ニ配當スルコト

ニ、商業學校特ニ男子商業學校ノ教育内容ヲ刷新シ工業ノ經營管理ニ關スル内容ノ擴充強化ヲ圖リ資材及工業ヲ重視スル等戰時體制ニ即應セシムルコト

ホ、工業學校教育内容ヲ一層時局ノ重點産業ニ即應セシメ實習ト生産勤勞トノ一體化ヲ圖ルコト

ヘ、女子中等學校ノ全般ニ互リ國防訓練ヲ重視シ特ニ高學年ノ定時ノ修練ノ時數ヲ増加シ戰時救急看護並ニ保育訓練ノ徹底ヲ期スルコト

ト、高等女學校ニ於ケル増課教科ノ實業科ヲ正課必修トシ商業又ハ農業ヲ課スルコトトシ女子勤勞、生産増強ノ國家的要請ニ即應セシムルコト

商業ハ其ノ内容ヲ珠算・簿記等經營實務ヲ主トスルコト

三、勤勞勤員ヲ強化スルコト共ニ教育内容ヲ刷新シ戰時上中堅有爲ノ國民タルノ資質向上ヲ圖ルタメ一箇年ノ教科教授日數ヲ第一高年及第二學年ハ從來通り三十四週、第三學年及第四學年ハ從來ヨリ二週ヲ減ジテ三十週トシ之ヲ下ルヲ得ザルコトトシタルコト

四、新制度ノ中等學校教育内容ハ本年度第一學年ヨリ適用サレ、第二學年以上ニ在リテハ新制度ノ趣旨ヲ斟酌シテ實施シツツアルモ、原則トシテ之ヲ全學年ニ適用シテ實施スルコトトシタルコト

但シ中學校・高等女學校ノ最高學年及實業學校ニ於テハ教育實施上著シキ困難ヲ來サザルヤウ適切ナル措置ヲ講ジタルコト

教育ニ關スル戰時非常措置方策ニ件フ學徒軍事教育強化要綱

(十九年二月四日發表)

文部省デハ過般閣議で決定サレタ「教育ニ關スル戰時非常方策」ニ伴ヒ且學徒ノ出陣、徵兵適齡低下等現下ノ實情ニ即應スルタメ學校ニ於ケル軍事教育ノ強化整備ヲ圖ルベク舊臘來陸海軍當局ト緊密ナル連絡ノ下ニ研究中ノトコロコレヲ二月四日ノ閣議ニ岡部文部大臣カラ報告シタ。

右ノ學徒軍事教育強化方策ノ狙ヒハ、從來學校デ實施シ來ツタ軍事教育ノ内容ヲ一層刷新整備シ全般的ニ益々基礎訓練ノ徹底ヲ圖ルト共ニ特ニ大學高等專門學校等ニ於テハ初級士官トシテ必要ナ指揮能力ヲ向上セシメル一方特定ノ一部學徒ニ對シ航空訓練、機甲訓練等ノ特別訓練ノ強化ヲ圖ツテ學徒即強兵トシテ明日ノ出陣ヲ待機シツツアル決戦下學徒ノ訓練ニ遺憾ナカラシメルト共ニ戰爭遂行力ノ増強ヲ期セントスルモノデアリ、更ニ軍事教育ノ時間ヲ設ケ初級戰術、戰史等ノ軍事學、銃砲、彈藥、化學兵器、自動車、戰車、軍用通信器、飛行機、電波兵器ノ構造、機能、手入、取扱及調整等ヲ習得セシメントスル兵器學、又醫科系ノ學徒ニハ衛生勤務、防空救護、健兵對策、航空醫學等ヲ内容トスル軍陣醫學等ヲ課スルコトトシ、コレニ伴ヒ教練時數モ理工科系ノ學校デハ五割以上、法文科系デハ十割以上ノ増加トナツテキル

右ハ大正十四年ニ學校教練ノ制度ガ實施サレ、昨年九月其ノ内容ヲ一部改正シテ以來ノ劃期的改革デアツテ、軍國非常ノ秋、其ノ成果ハ當面ノ戦力ニモ直接至大ナ影響ヲモタラスモノトシテ多大ノ期待ガカケラレテキル

第一方針

現戰局ニ對處シ徵兵適齡低下ニ即應セシムル爲學校ニ於テ軍事教育ヲ強化シ一層基礎訓練ノ徹底ヲ圖リ特ニ大學

高等專門學校ニ在リテハ更ニ指揮能力ヲ向上セシムルト共ニ特別訓練ノ強化ヲ圖リ以テ當面ノ戰爭遂行力ノ增強ヲ期ス

第二 要領

一 教育内容

1、一般教育

一般教育内容ニ軍事的教材特ニ軍人ニ賜リタル勸諭ヲ始メ軍人タルニ必要ナル精神的要素ノ取入ヲ一層增強シ教練、特別訓練、勤勞動員等ト相俟ツテ軍事能力ノ強化向上ヲ期ス

2、教練強化ノ内容

國民學校ヨリ大學ヲ一貫スル教練内容ヲ檢討シ其ノ教育體系ヲ整備擴充ス之ガ爲教練ニ充當スル時間ハ中等學校ニ在リテハ現在程度トシ、大學高等專門學校中理工科系ニ在リテハ十割程度以上ヲ増加ス但シ軍事講習、聯合演習ハ現在ノ通リトス

(一) 國民學校ノ教練ハ之ヲ強化シ初步ノ軍事的基礎訓練ノ徹底ヲ期ス

新ニ初步ノ通信基礎教育(手旗及モールス信號等)ヲ加フ

(二) 青年學校ノ教練ハ愈々之ガ充實強化ヲ圖リ實戰即應ノ基礎訓練ヲ徹底セシム

新ニ通信基礎教育ヲ加フ

(三) 中等學校ノ教練ニ於テハ一層實戰即應ノ基礎訓練ヲ徹底セシム

新ニ通信基礎教育ヲ加フ

(四) 高等專門學校ノ教練ハ更ニ基礎訓練ノ徹底ヲ期シ且指揮能力ノ向上ヲ圖リ特定ノ一部生徒ニ步兵重火器通信ノ教練ヲ課ス

(五) 大學ノ教練ハ指揮能力ヲ一層向上セシメ特定ノ一部學生ニ火炮ノ教練ヲ課ス

(六) 大學高等專門學校ニ於テハ概ネ每週一回半日若クハ終日連續教練ヲ課ス

(七) 前掲(四)(五)ノ特業的教練ヲ課スベキ人員ハ總員ノ一割ヲ目途トシ其ノ訓練ニ充當スル時間ノ一割教練時數ノ三分ノ一程度ヲ原則トス

(八) 特別訓練ヲ左ノ如ク實施ス

イ、航空訓練ヲ重點的ニ強化シ其ノ達成目標ヲ左ノ如クス

中等學校

滑空訓練初級

高等專門學校大學、滑空訓練中、上級部操縱訓練

訓練人員ハ航空勤務適格者中軍ノ必要ヲ基礎トシテ決定ス

本訓練ノ爲左ノ如ク教練時數ヲ充當ス

中等學校

第三學年以上每學年三十時

高等專門學校

教練時數ノ二分ノ一

大 學

教練ノ全時數

指導者及資材ニ關シテハ其ノ強化整備ヲ圖ルモノトス本訓練ノ外國民學校以上各學校各教科ヲ包括一貫セル航空教育體系ヲ樹立シ綜合的ニ航空教育ヲ強化ス

ロ、機甲訓練ハ更ニ強化ヲ圖リ大學高等專門學校ニ在リテハ特定ノ一部生徒ニ對シ教練時數ノ二分ノ一ヲ充當ス

(九) 軍事教育ヲ左ノ如ク實施ス

イ、軍事學

大學高等專門學校ニ於テハ初級士官タルニ必要ナル初級戰術、戰史其ノ他所要ノ軍事學ノ概念ヲ課シ充當スベキ時間ハ在學中ヲ通シ概ネ五十時間トス

ロ、兵器學

大學高等專門學校中理工科系ニ於テハ技術將校タルニ必要ナル兵器學ヲ、高等專門學校中法文科系ニ於テハ初級士官タルニ必要ナル兵器學ヲ課シ、之ニ充當スベキ教育時間ハ在學中ヲ通シ大學、高等專門學校中理工科系ハ六十時間、高等專門學校中法文科系ハ三十時間トス

兵器學ノ内容ハ各兵器（火器、彈藥、化學兵器、自動車、戰車、軍用通信器、飛行機、電波兵器）ノ構造機能、手入取扱及調整等ヲ課スルノ外兵器關係工場ノ實習ヲ課スルモノトス
但シ兵器關係工場實習ニ要スル時數ハ前項ノ時間外トス

ハ、軍陣醫學

醫科系學校ニ之ヲ課シ其ノ内容ハ軍陣醫學、衛生勤務、防空救護、健兵講座、航空醫學講座トス教育時數ニ關シテハ別途研究ス
獸醫學ノ學徒ニ對シテハ右ニ準ジ之ヲ課ス

二 教授力の擴充

- 1、教授力ノ擴充強化ノ爲教練教師ノ配置ヲ適正ナラシメ其ノ充實ヲ期ス
- 2、優良ナル教練教師ヲ補充スル爲其ノ任用ノ制度ヲ改善スルト共ニ待遇ノ向上ヲ期ス
- 3、教練教師ノ資質向上ノ爲適切ナル再教育ヲ實施ス

三 學徒ノ體力向上

軍事上ノ要求ニ鑑ミ學徒ノ體力向上ニ一段ノ努力ヲナシ特ニ保健施策ヲ一層強化刷新ス

四 實施時期ハ昭和十九年四月ヲ目途トスルモ實施可能ナルモノニ在リテハ可及的速カニ之ガ實施ヲ圖ルモノトス

(備考)

- 一 海軍關係ノ軍事教育ニ關シテハ海軍軍事教育令ニ基キ大學高等專門學校ノ最高學年ノ學徒ニ對シ軍事講義（航空術、航海術、運用術、砲術、水雷術、通信術、科學技術ト新式兵器、海軍組織、軍艦ノ重要性）年三十時間ヲ課ス
- 二 諸般ノ情勢ニ應ジ將來教練時數ヲ更ニ増加スルコトアルベシ

國民學校令等戰時特例 (十九年二月十六日公布)

第一條 本令ハ大東亞戰爭ニ際シ學校教育ニ付時局ニ即應スル措置ヲ講ズルヲ以テ目的トス

第二條 國民學校ニ兒童ヲ就學セシムベキ期間ノ終ハ國民學校令第八條ノ規定ニ拘ラズ當該兒童ノ滿十二歳ニ達シタル日ノ屬スル學年ノ終トス但シ滿十二歳ニ達シタル日ノ屬スル學年ノ終ニ至ルモ國民學校初等科ノ課程ヲ修了セザル兒童ニ付テハ其ノ者ガ滿十四歳ニ達スル日迄ニ其ノ課程ヲ修了シタルトキハ其ノ修了シタル日トシ滿十四歳ニ達スルモ其ノ課程ヲ修了セザルトキハ其ノ達シタル日トス

第三條 昭和十六年勅令第五百五十五號中昭和十九年四月一日以後ニ於テ施行セラルベキ部分ハ之ガ施行ヲ延期ス

第四條 昭和十九年度ニ於テ中等學校令第二十條ノ規定ニ依ル中等學校ノ第三學年及第四學年ニ在學スル生徒（文部大臣ノ定ムル者ヲ除ク）ニ付テハ其ノ修業年限ハ同條ノ規定ニ拘ラズ同令第七條又ハ第九條ノ規定ニ依ル

昭和十九年度ニ於テ師範教育令附則第九項ノ規定ニ依ル高等師範學校附屬中學校又ハ女子高等師範學校附屬高等女學校ノ第三學年及第四學年ニ在學スル生徒ニ付テハ其ノ修業年限ハ同項ノ規定ニ拘ラズ同令第十九條第一項ニ於テ準用スル中等學校令第七條ノ規定ニ依ル

第五條 師範教育令附則第四項ノ規定ハ昭和十九年度ニ於テ師範學校女子部本科ニ在學スル生徒（文部大臣ノ定ムル者ヲ除ク）ニ付テノミ之ヲ適用ス

第六條 修業年限五年ノ中學校若ハ高等女學校ノ第四學年ヲ修了シタル者又ハ文部大臣ノ定ムル所ニ依リ之ト同等以上ノ學力アリト認メラレタル者ハ師範教育令第五條若ハ第十五條又ハ專門學校令第五條第一項本文ノ規定ニ拘ラズ師範學校本科、高等師範學校若ハ女子高等師範學校又ハ專門學校ニ入學スルコトヲ得

第七條 監督官應特ニ必要アリト認ムルトキハ公立又ハ私立ノ學校ニ付左ニ掲グル事項ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

- 一 學校ノ整理及統合
- 二 學部、學科又ハ課程ノ設置及廢止
- 三 學生生徒ノ定員變更及募集停止並ニ授業ノ停止
- 四 授業ノ委託及受託
- 五 校地及校舍ノ變更

前項第一號又ハ第二號ノ規定ニ依リ公立又ハ私立ノ大學又ハ其ノ學部ノ設置又ハ廢止ニ係ル命令ヲ爲サントスルトキハ別ニ定ムル公私立大學臨時措置委員會ノ諮問ヲ經ベシ

前項ノ規定ニ依ル命令ヲ爲サントスルトキハ文部大臣ニ於テ勅裁ヲ請フベシ

第二項ノ規定ニ依ル命令ヲ爲シタル場合ニ於テハ大學令第八條ノ規定ハ之ヲ適用セズ

第一項ノ規定ニ依ル命令ヲ爲シタル場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ政府ハ豫算ノ範圍内ニ於テ補助金ヲ交付スルコトヲ得

第一項及前項ノ規定施行ニ關シ必要ナル事項ハ文部大臣之ヲ定ム（以下略）

青年師範學校創設ニ關スル勅令（十九年二月十七日公布）

師範教育令中左ノ通改正ス

第三章 青年師範學校

第二十條 青年師範學校ハ皇國ノ道ニ則リテ青年學校教員タルベキ者ノ鍊成ヲ爲スヲ以テ目的トス

第二十一條 青年師範學校ハ官立トス

第二十二條 青年師範學校ニ男子部及女子部ヲ置ク但シ土地ノ情況ニ依リ男子部又ハ女子部ノミヲ置クコトヲ得

第二十三條 青年師範學校ノ修業年限ハ三年トス

第二十四條 青年師範學校ニ入學スルコトヲ得ル者ハ當該學校豫科ヲ修了シタル者、中學校若ハ高等女學校ヲ卒業シタル者又ハ文部大臣ノ定ムル所ニ依リ之ト同等以上ノ學力アリト認メラレタル者トス

第二十五條（略）

第二十六條 青年師範學校ニハ特別ノ必要アル場合ニ於テハ豫科ヲ置クコトヲ得

豫科ノ修業年限ハ二年トス

豫科ニ入學スルコトヲ得ル者ハ國民學校高等科ヲ修了シタル者又ハ文部大臣ノ定ムル所ニ依リ之ト同等以上ノ學力アリト認メラレタル者トス

豫科ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

第二十七條 青年師範學校ヲ卒業シタル者ノ爲ニ研究科ヲ置クコトヲ得

研究科ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム
 第二十八條 青年師範學校ニ附屬青年學校ヲ置ク
 特別ノ事情アル場合ニ於テハ公立又ハ私立ノ青年學校ヲ以テ附屬青年學校ニ代用スルコトヲ得
 第二十九條 (略)

附 則

本令ハ昭和十九年四月一日ヨリ之ヲ施行ス (以下略)

大日本育英團 (假稱) 創設要項 (十八年十月六日發表)

第一 設立趣旨

時局ニ鑑ミ大日本育英團ヲ設立シ優秀ナル素質ト才能トヲ有シ乍ラ經濟上ノ理由ニ依リ進學ノ機會ニ惠マレザル多數ノ學徒ニ對シ學費ノ貸與等ヲ行ヒ以テ指導的人材ノ育成ニ努メントス

第二 育英事業實施要領

- 一 事業主體
 - 十八年度ニ於テハ財團法人大日本育英團ヲ設立シ事業ヲ開始セシム十九年度ニ於テハ特別法ニ依ル特殊法人ヲ創設シ事業ヲ經營セシム
- 二 事業內容
 - (一) 貸費人員
 - 十八年度ニ於テハ左ノ如シ

中等學校	二、〇〇〇人
專門學校	四〇〇人
高校及豫科	二二〇人
大學	一、〇〇〇人

本年度貸費者ニ對シテハ當該學校卒業迄貸費ヲ繼續スルモノトス但シ高校及豫科在學中ノモノニ付テハ當該學校ヲ經テ大學へ進學セシメ卒業迄貸費ス
 十九年度ニ於ケル見込人員左ノ如シ

中等學校	六、〇〇〇人
專門學校	一、五〇〇人
高校及豫科	一、三〇〇人
大學	一、二〇〇人

(十八年度以降貸費人員及貸費額年度内譯別表ノ通り)

(二) 貸費額

十八年度ニ於ケル一人平均年額左ノ如シ

中等學校	二四〇圓
專門學校	六〇〇圓
高校及豫科	六〇〇圓
大學	八〇〇圓

十九年度ニ於テモ右ト同ジ見込

(III) 銓衡方法

十八年度ニ於テハ當該學校長ノ推薦ニ基キ本部銓衡委員會ニ於テ銓衡シ理事長之ヲ決ス
十九年度ニ於テハ中等學校生徒ニ付テハ第一次ニ支部銓衡委員會ノ銓衡ヲ經ルコトトシ專門學校以上ノ學生生
徒ニ付テハ十八年度ト同様トス

三 其ノ他

(一) 貸費資金

貸費ニ要スル資金ハ大藏省預金部ヨリ借受ケ之ニ對スル利子ハ年利率三分二厘ヲ以テ國庫ヨリ支出スルモノトス

(二) 十八年度事業開始時期

速ニ財團法人大日本育英團ヲ設立シ直ニ事業ヲ開始セシム、但シ貸費ハ十一月分ヨリ開始スルモノトス

大日本育英會法 (重要條文) (十九年二月十七日公布)

第二條 大日本育英會ハ優秀ナル學徒ニシテ經濟的理由ニ因リ修學困難ナルモノニ對シ學費ノ貸與其ノ他之ガ育英上
必要ナル業務ヲ行ヒ以テ國家有用ノ人材ヲ育成スルコトヲ目的トス

第十六條 大日本育英會ハ左ノ業務ヲ行フ

- 一 學費ノ貸與
- 二 學費ノ貸與ヲ受ケル學徒ノ輔導
- 三 修學上必要ナル施設ノ設置及經營
- 四 前各號ノ業務ニ付帶スル業務

大日本育英會ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケ前項ニ掲グル業務ノ外其ノ目的達成上必要ナル業務ヲ行フコトヲ得

第十條 前條第一項第一號ノ業務ニ要スル資金ハ大藏省貯金部其ノ他ヨリノ借入金、寄附金等ヲ以テ之ニ充ツルモ
ノトス

第二十七條 政府ハ第十六條第一項第一號ノ業務ノ爲借入レタル借入金中二億七千四百萬圓ヲ限リ其ノ元本ノ償還及
利息ノ支拂ニ付保證スルコトヲ得

決戰非常措置要綱ニ伴フ學徒動員關係

決戰非常措置要綱 (情報局發表) (十九年二月二十五日閣議決定)

決戰ノ現段階ニ即應シ國民即戰士ノ覺悟ニ徹シ國ヲ擧ゲテ精進刻苦ソノ總力ヲ直接戦力増強ノ一點ニ集中シ當面ノ各
緊要施策ノ急速ヲ圖ルノ他先ヅ左ノ非常措置ヲ講ズ

一、學徒動員態勢ノ徹底

- (1) 原則トシテ中等學校程度以上ノ學生生徒ハ總ベテ今後一箇年當時コレヲ勤勞ソノ他非常任務ニモ出動セシメ
得ル組織的態勢ニ置キ必要ニ應ジ隨時活潑ナル動員ヲ實施ス
- (2) 理科系ノモノハソノ専門ニ應ジ概ネコレヲ軍關係工場、病除等ノ職場ニ配置シテ勤勞ニ從事セシム
- (3) 學校校舎ハ必要ニ應ジコレヲ軍需工場トシ又ハ軍用非常倉庫用、非常病院用、避難住宅用ソノ他緊要ノ用途
ニ轉用 (以下略)

決戰非常措置要綱ニ基ク學徒動員實施要綱 (十九年三月七日發表)

決戰ノ現段階ニ即應シ學徒ノ動員ハ原則トシテ中等學校程度以上ニ付今後一年當時之ヲ勤勞其ノ他非常任務ニ出動セ

シテ得ル組織の態勢ニ置キ左ノ要領ニ依リ必要ニ應ジ隨時活潑ナル動員ヲ實施ス

一 學徒ノ勤勞動員ハ其ノ受入體制ヲ整備スルト共ニ學徒ノ受クル教育ノ種類程度ニ適應セシメ其ノ效率ヲ發揮スルヲ旨トシ概ネ左ニ依リ之ヲ實施ス但シ必要ニ應ジ機ニ臨ミ他ノ作業ニ從事セシム

イ 國民學校高等科

國民學校高等科兒童ノ動員ニ付テハ土地ノ情況、身心ノ發達ヲ考慮シ適當ナル作業種目ヲ選ビ之ヲ實施ス

ロ 中等學校

(一) 工業學校生徒ハ概ネ軍關係其ノ他重要工場事業場ニ動員ス

(二) 商業學校ヨリ轉換セル工業學校ノ生徒ガ特定工場ニ於テ現場作業ヲ行フ場合又ハ學校ヲ軍需工場化シタル場合ニハ概ネ夫々當該工場又ハ關係工場ニ動員ス

(三) 農業學校生徒ノ動員ハ食糧増産、國防建設事業等ニ重點ヲ指向ス

(四) 中學校、商業學校及高等女學校生徒ノ動員ハ土地ノ情況、勤勞需給ノ情況ヲ勘案シ食糧増産、國防建設事業又ハ工業事業場(輸送ヲ含ム)等ノ作業ニ動員ス

尙女子ノ動員ニ付テハ可及的學校設備ノ工場化ニ依リ勤勞ノ實ヲ學グル如ク併セ考慮ス

大都市ニ於ケル中學校、商業學校生徒ハ必要ニ應ジ疎開及防空施設事業ニモ之ヲ動員ス

(五) 特ニ第一、二學年生徒ノ動員ニ付テハ國民學校高等科兒童ニ準ズ

ハ 大學高等專門諸學校

(一) 理科系學生生徒ニ付テハ左ニ依ル

工業及理學

(イ) 工業及理學關係ノ學生生徒ノ勤勞動員ニ關シテハ第三學年及第二學年ニ重點ヲ置クモ必要ニ應ジ低學年

ノ學生生徒モ之ヲ動員ス

(ロ) 現在ノ第三學年ノ學生生徒ハ原則トシテ其ノ履修スル學科ノ種類ニ應ジ最モ適當ナル工場事業場等ニ動員シ其ノ技術的指導面ニ活用スル如ク措置ス

第二學年學生生徒ニ付テモ可及的右ニ準ズ

醫 學

(イ) 醫學關係學生生徒ノ實習勤務ハ第四學年及第三學年ニ重點ヲ置クモ必要ニ應ジ低學年ノ學生生徒モ之ヲ動員ス

(ロ) 現在第四學年及第三學年ノ學生生徒ハ軍病院、學校附屬病院、工場事業場附屬病院、其ノ他一般病院等に於テ專ラ實習勤務ニ服セシム

(ハ) 現在第四學年ノ學生生徒ハ本年七月以降現在第三學年ノ學生生徒ハ明年四月以降夫々軍務其ノ他ノ實務ニ服セシメ得ル様措置ス

農 學

農業關係ノ學生生徒ノ勤勞動員ハ原則トシテ其ノ履修スル學科ノ種類ニ應ジ其ノ專門ヲ最モ能率的ニ發揮シ得ベキ食糧増産、工場事業場等ニ動員シ特ニ食糧増産作業等ニ付テハ其ノ指導者トシテ活用スル如ク措置ス

(二) 前項以外ノ學生生徒ニ付テハ土地ノ情況、勤勞需給ノ情況等ニ勘案シ食糧増産、國防建設事業又ハ工場事業場(輸送ヲ含ム)等ノ作業ニ動員シ力メテ特能ヲ發揮シ得ル如ク措置ス

大都市ニ於テハ疎開及防空施設事業ニモ之ヲ動員ス

(三) 教員養成諸學校

(イ) 工業關係實業學校教員養成所及青年師範學校ノ工業科ノ生徒ニ關シテハ(一)ニ準ズ

(ロ) 高等師範學校、女子高等師範學校、青年師範學校(前項ノモノヲ除ク)臨時教員養成所、實業學校教員養成所及師範學校ノ生徒ニ關シテハ(一)ニ準ズ

備考

大學高等專門諸學校理科系學徒ノ動員ニ關シテハ特ニ學校教育ト密接ニ連關セシメ且ツ可及的將來ノ就職配置トモ配ミ合セ適正ナル計畫配置ヲ考慮ス

- 二 學生生徒ノ勤勞動員ハ當該學校ノ教職員ヲ中心トシテ學校ヲ基本トスル隊組織ニ依リ之ヲ行フ
- 三 學校報國隊ノ整備強化ヲ圖ル
- 四 學校校舍ノ學需工場化ニ付テハ各種ノ學校特ニ女子ノ學校ヲ主流トシテ急速ニ之ガ具體化ヲ圖ル
- 五 學徒ノ勤勞動員ニ關シ速ニ法令上ノ措置ヲ講ズ
- 六 日曜日ヲ變更シ日曜日ニ於テモ授業ヲ爲シ得ル如ク法令上ノ措置ヲ講ズ
- 七 教育關係教職員等ニシテ軍需監理官又ハ勞務官ヲ兼任スル者ニ對シ速カニ必要ナル錄成ヲ行フ
- 八 學徒ノ動員ニ關聯シ軍幹部要員、技術要員、科學研究要員タルノ教育錄成トノ調整ヲ圖ル
- 九 學徒ノ防空、防衛等ノ非常任務ニ關シ急速ニ動員體制ヲ一層整備シ之ガ演練ヲ強化實施ス
- 十 勤勞從事中ノ學徒ニ對シテハ當該作業場ノ勤勞者ニ準ジ食糧其ノ他ノ物資ノ配給ヲ行フ如ク考慮ス

決戰非常措置ニ基ク學徒勤勞動員ニ關スル件 (昭和十九年四月十七日) (文部省訓令第十一號)

直轄學校、公立私立ノ大學、高等學校及專門學校 東京、都、北海道廳、樺太廳、府、縣

長クモ宣戰ノ大詔演發セラレテ技ニ二年有半御稜威ノ下能ク東亞ノ要域ヲ確保シ大東亞ノ建設亦日ニ進ミツツアリト雖モ暴戾ナル敵ノ反抗ハ最近頓ニ熾烈ヲ加ヘ精銳比ナキ皇軍ノ前ニ只管物力ヲ恃ミトシテ執拗ニ決戰ヲ挑ミ來ル正ニ皇國隆替ノ岐ルルトコロ未曾有ノ危局ナリト謂フヘシ國家非常ノ秋ニ方リ義勇公ニ奉スルハ光輝アル我カ傳統ナリトナ前總統後ヲ貫キ國民即戰士ノ自覺ニ徹シ一億颯起シテ戰陣配置ニ就ク就中學徒ハ曩ニ一部ノ勇躍出陣ヲ送リ決戰待望今日ニ及ヘルモ今ヤ中等學校程度以上ノ學徒ハ學テ常時勤勞其ノ他ノ非常任務ニ服スヘキ組織的態勢ノ下適時出動ノ機ヲ迎フ事固ヨリ決戰非常ノ措置ニ出ツト雖モ將本國家須要ノ人材タルヘキ學徒ヲシテ勤勞其ノ他非常任務ノ從ハシム蓋シ我カ教育史上空前ノコトト謂フヘシ

惟フニ行學ヲ一體トシ文武ヲ一如トシテ能ク皇國民ノ錄成ヲ教スハコレ我カ教學ノ本義ニシテ最近數次ニ耳ル教育改革ノ趣旨一ニ此ニ在リ這般ノ學徒出陣今次ノ學徒出動亦齊シク我カ教學精神ノ決戰下ニ於ケル具體的顯現ニ他ナラス宜シク實學ヲ重シシ事上練磨ヲ尙フ我カ國風ノ精髓ヲ味得シ特實ナル勤勞其ノ他ノ諸活動ニ於テ教育ノ終局的ナル意義ト效果ノ發揚セラルル所以ヲ體認スヘキナリ特ニ學徒ノ勤勞動員ハ其ノ體得セル教養訓練ト獨自ノ組織力トヲ活用スルヲ以テ要諦トシ之ヲ以テ單ナル勞務ノ提供トナスカ如キハ斷シテ許サレサルトコロナリ乃チ教育ノ種類程度ニ適應セル作業ヲ選ヒ學校ト職場生活ト修練トヲ相即一體タラシムルニ力メ奉公勤公ノ皇國勤勞觀ニ徹セシムルト共ニ常ニ學徒タルノ矜持ヲ保チ自學求道ノ謙虛ナル態度ヲ持セシメ其ノ出動ニ方リテハ教職員ヲ中心トスル學校報國隊ノ組織編成ヲ以テシ整然タル規律節制ノ下澀刺タル意氣ト力トヲ以テ精神事ニ當ラシメ力メテ專攻ノ學理カ生徒ノ實際ニ於テ如何ニ應用セラルルカヲ考察玩味セシムルヲ要ス斯クシテ學徒勤勞動員ノ行ハルルトコロ自ラ一ノ風尙ヲ醸成シ延イテ現場ノ全體ニ清新ノ氣ヲ橫溢セシメ生産效率ノ上昇戰力ノ飛躍的増強期シテ俟ツヘク以テ學國勤勞勢一新ノ契機タルヘシコレ國家焦眉ノ要請ニシテ學徒勤勞動員ノ眞價此ニ發揮セラルルヲ銘記セサルヘカラス 更ニ之カ指導ニ方リテハ深ク致上ノ趣旨ヲ究メテ萬般ノ措置悉ク此ニ出ツヘキハ勿論特ニ學徒ノ心情ヲ確把シ其ノ純

眞ナル奉公心ヲ實踐ノ上ニ遺憾ナク發揮セシムルヲ旨トシテ周到ナル注意ヲ拂フト共ニ苟モ規矩ニ拘泥スルコトナク
機ニ變ミ處ニ處シテ實情ニ即スル創意工夫ヲ回ラシ指導誘掖ノ適切ヲ期スルヲ肝要トス之ヲ要スルニ今次學徒動員ハ
眞ニ劃期的ナル國家施策ニシテ教育ノ效果ヲ發揚スヘキ機會今日ニ勝ルモノナシ變轉極リナキ世界情勢ノ中ニ皇國ノ
獨フヘキトコロハ炳トシテ明カニシテ國家悠久ノ發展ニ學徒ノ荷フヘキ任務愈々重キヲ加フ決戦必勝ノ果ハ凡ユル苦
難ヲ超克シ洋勵ノ誠ヲ盡シテ然ル後始メテ之ヲ得ヘク一億騰起ノ先驅タルヘキ學徒動員ノ意義倍々大ナリ職トシテ教
育ニ携ハル者宜シク教育ノ重大性ニ思フ致スト共ニ學徒動員ノ趣旨ノ存スルトコロヲ諒得シ奮勵精進以テ其ノ成果ノ
發揚ニ渾身ノ力ヲ竭スヘシ

昭和十九年四月十七日

文部大臣 子爵 岡 部 長 景

第一部ニ於テハ大學及專門學校ノ學生生徒ノ勤勞動員ニ關スル事務ヲ掌ル

第二部ニ於テハ中等學校、青年學校、國民學校及教員養成諸學校ノ學生生徒兒童ノ勤勞動員ニ關スル事務ヲ掌ル

第三部ニ於テハ學徒ノ防空、防衛其ノ他非常任務ニ關スル動員、動員學徒ノ授養、保健及作業場ニ於ケル學徒ノ勤
勞管理並ニ指導者ノ訓練ニ關スル事務ヲ掌ル

第三條 學徒動員本部ニ本部長、次長、部長及部員ヲ置ク

本部長ハ文部大臣、次長ハ文部次官、總務部長ハ總務局長、第一部長ハ專門教育局長、第二部長ハ國民教育局長、

第三部長ハ體育局長ヲ以テ之ニ充ツ

部員ハ文部省職員中ヨリ文部大臣之ヲ命ズ

第四條 本部長ハ本部ノ事務ヲ總理ス

次長ハ本部長ヲ佐ケ本部ノ事務ヲ掌理ス

部長ハ上官ノ命ヲ承ケ部務ヲ掌ル

部員ハ上司ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ従事ス

第五條 學徒動員本部ノ事務ニ參與セシムル爲メ參與ヲ置ク

參與ハ文部省委員ヲ以テ之ニ充ツルノ外必要ニ依リ文部部内職員中ヨリ文部大臣之ヲ命ズ

第六條 文部大臣必要アリト認ムルトキハ文部部内職員ヲシテ特定ノ事項ニ關シ學徒動員本部ノ事務ニ従事セシムル
コトヲ得

決戦非常措置要綱ニ基ク中等學校教育内容ニ關スル措置要綱ノ件

(昭和十九年三月二十四日 發 國 一 九 二 號 文部次官ヨリ地方長官)

客年十二月二十日附發國五六九號通牒ヲ以テ中等學校教育ヲシテ戰時下國家ノ要請ニ即應セシムル様措置致シタル處
時局ハ更ニ推移シ愈々中等學校ニ於テ生産ト教育トナ一體トシテ戦力増強ノ強化ヲ圖ルノ要喫緊ナルモノアルニ鑑ミ
義ニ關議ヲ以テ決定相成タル決戦非常措置要綱ニ基キ今般別紙ノ通牒記要綱ヲ相定メタルニ付テハ之ガ趣旨達成ニ萬
遺憾ナキヲ期セラレ度依命及通牒

決戦非常措置要綱ニ基ク中等學校教育内容ニ關スル措置要綱

決戦ノ現段階ニ即應シ學校ノ種類、土地ノ情況ニ依リ生徒ヲシテ今後一年常時勤勞其ノ他非常任務ニ出動セシメ得ル
組織的態勢ニ置クト共ニ戰時下中堅國民タルノ資質ノ充實ヲ圖リ生産ト教育トナ一體化シテ戦力ノ増強ニ力ムルモノ
トス

第一方 針

(一) 勤勞動員ヲシテ教育ノ一環タラシメ勤勞ト教育トノ融合ニ力メ學徒養成ノ完キヲ期スルコト

- (一) 休暇・日曜日等ノ休業ハ原則トシテ之ヲ廢シ勤勞動員ト共ニ學力ノ充實向上ニ充ツルヲ建前トスルモ生徒心身ノ休養ニ付適切ナル配慮ヲ爲スコト
- (二) 勤勞動員ノ程度ニ應ジ一教育ニ關スル戰時非常措置方策ニ基テ中等學校教育内容措置要綱ニ示セル各學校ノ「教科及修練ニ關スル措置」ノ趣旨徹底ヲ期スルコト
- (三) 學業ニ付テハ生徒ノ負擔過重ニ陥ルヲ戒メ教材ヲ選擇シ教授ノ方法ニ工夫ヲ加フル等教授ノ能率化ヲ圖ルト共ニ自發的學習態度ノ育成ニ力ムルコト
- (四) 教職員ハ勤勞動員ガ實踐教育タルノ本義ニ徹シ生徒ト共ニ率先垂範勤勞ニ從事シ以テ生徒ノ鍊成ニ力ムルコト

第二要 領

- (一) 通年勤勞動員ノアリタル場合
 - (1) 勤勞動員ハ之ヲ修練トシテ實施シ左記事項ヲ基準トシテ適切ナル措置ヲ講ズルコト
 - イ 日曜日又ハ作業ノ休日等ヲ利用シ學校ノ種類ニ應ジ軍事ニ關スル科學・救護實習・保育實習ノ實施ニ力ムルコト
 - ロ 生徒ヲシテ常ニ學徒タルノ矜持ヲ保チ現場ヲ道場トシテ國策ヲ完遂スルノ氣魄ト態度トヲ涵養スルコト
 - ハ 現場ニ於ケル調育・輔導ノ根本方針ハ豫メ學校ニ於テ之ヲ定メ現場ノ教育的環境ト勤勞能率ノ向上トヲ考慮シ具體的ニ實施スルコト
 - ニ 受入側ニ於ケル生徒ノ勤勞ノ班別組織・仕事ノ分擔・勤勞當番等ヲ考慮シ生徒ノ個性・身體狀況等ニ適合セシムルコト
 - ホ 生徒ヲシテ自宅若ハ學校寮舍等ヨリ直接現場ニ通ハシムルヲ本則トシ生徒ノ調育ニ力ムルコト

- 現場ニ於ケル寄宿舍等ニ入合スル場合ニ在リテハ現場側ト協議ノ上學校職員ハ交代宿泊シ調育ノ徹底ヲ期スルコト
- (2) 教科教授ニ付テハ左記ヲ基準トシテ適切ナル措置ヲ講ズルコト
 - イ 勤勞動員ノ程度・情況等ヲ勘案シ力メテ現場ニ於ケル餘暇ヲ活用シテ教科教授ト勤勞作業トノ關聯ニ留意シ生徒ノ指導ヲ爲スコト
 - ロ 尙情況ニ應ジ夜間授業ヲ行フヲ得ルコト
 - ハ 職員ヲシテ生徒ノ家庭及寮舍等ニ於ケル自學自修ヲ指導セシムルト共ニ生活訓練ヲ徹底セシメ資質ノ向上ヲ圖ルコト
 - ニ 教科教授及自學自修ノ指導ニ當リテハ教科科目ノ配分並ニ教科内容ニ付一年間ヲ通シ重點的取扱ヲ爲シ得ル標計畫實施スルコト
- (3) 集團的ニ勤勞動員ノ配置ヲ行ハレザル場合ニ在リテモ適宜生徒ヲ集合セシムル等生徒ノ輔導ニ力ムルコト
- (11) 通年勤勞動員ヲ實施セザル場合
 - (1) 教科教授ニ付テハ所定ノ教科科目ニ付テ授ケ一層要點ノ徹底ヲ旨トシ可能ナル限り所要日時數ノ授業ヲ實施スルニ力ムベキモ時局ノ進展ニ伴ヒ豫定ノ授業ヲ爲シ得ザル場合ハ左記事項ヲ基準トシテ適切ナル措置ヲ講ズルコト
 - イ 低學年ニ在リテハ特ニ教科教授ノ徹底ヲ期スルヲ建前トスルコト
 - ロ 學校及學科ノ種類ニ應ジ各教科科目ニ付最低限度ノ教授豫定表ヲ作成シ緩急ニ隨ヒ之ニ即應シテ實施シ得ル如ク措置スルコト
 - ハ 能ラズ勤勞動員ノ計畫ニ即應シテ各科目ノ一學年間ノ授業總時數ヲ豫定シ其ノ範圍内ニ於テ必要ニ應ジ

毎週授業總時數ヲ變更シ得ルコト

ニ 教材ノ程度ヲ考慮シテ日課ノ變更、繰替授業或ハ學年間ノ變更等ヲ爲シ得ルコト

ホ 必要アル場合ニ限り一時限ノ授業時間ヲ三十五分(夜間ニ於テ授業ヲ行フ中等學校ニ在リテハ三十分)迄

ニ短縮シ又ハ二時限ヲ一單元トスルヲ得ルコト

ヘ 必要ニ應ジ適宜合併教授、複式教授、二部教授等ノ方法ヲ實施スルヲ得ルコト

(2) 修練ノ實施ニ付テハ左ノ事項ニ留意スルコト

イ 勤勞動員ハ之ヲ修練トシテ實施スルコト

ロ 修練ノ實施事項ハ特ニ決戦下緊要ナルモノヲ選ブコト

ハ 定時ノ修練(軍事ニ關スル科學、救護實習、保育實習以外ノモノ)並ニ隨時ノ修練ノ指導事項ハ學校ノ種

類並ニ勤勞動員ノ程度ニ應ジテ適宜決定シ得ルコト

(三) 勤勞動員ニ於ケル生徒ノ出席情況、勤勞ノ態度、熱意、作業ノ種類、程度ヲ考慮シテ其ノ成績ヲ綜合評定シ

具體的ニ概ネ一箇月毎ニ記錄シ置クコト

(四) 女子中等學校ニ在リテハ家庭ニ於ケル實務ヲ重視シ之ト緊密ナル關聯ノ下ニ教育計畫ヲ擬スルコト

(五) 學校ヲ工場化シテ實施スル下請作業ハ之ヲ教育ノ一環トラシメ效果ノ發揚ニ資スルコト

(六) 轉換工業學校並ニ工業學校ニ在リテハ本要綱ニ依ルノ外「現場實習ニ關スル實施要綱」ニ基キ適切ナル指導

ヲ爲スコト

(七) 土地ノ情況ニ依リ始業及終業時ノ繰上ケ又ハ繰下ケニ依リ重點輸送ノ強化ニ協力スルト共ニ學徒訓練ノ徹底

ヲ圖ルコト

(八) 檢練科教練ニ付テハ別ニ指示セララルル見込ナルコト

決戦非常措置ニ基ク學徒動員實施要綱ニ依ル學校種別學徒動員

基準ニ關スル件 (昭和十九年三月三十一日 文部次官ヨリ 地方長官)

發 佈 六 八 號 學校長)

奇烈ナル現戰局ニ對處スル爲ニ決戦非常措置ニ基ク學徒動員實施要綱別紙ノ通關議決定相成リタル處之ニ關シ別記ノ通學校別學徒動員基準決定相成リタルニ付仰了知相成度

尙之カ具體的指導要領及學徒ノ出動配屬ニ關スル措置等ニ關シテハ決定次第逐次何分ノ指示有之ベキニ付爲念

決戦非常措置ニ基ク學徒動員實施要綱ニ依ル學校種別學徒動員基準

第一 大學高等專門諸學校

甲 理科系學生徒

一 工 續 關 係 (理學部物理、化學、地質、礦物、數學等ノ學科ヲ含ム)

1 動員方針及動員期間

イ 第三學年ハ其ノ專攻學科ニ應ジ分散配置スルヲ原則トシ通年動員スルコト

ロ 第二學年ハ其ノ專攻學科ニ應ジ地域的集團配置ヲ原則トシ通年動員スルコト

ハ 第一學年ハ臨時緊急ナルモノニ動員スルコト

2 出 動 先

イ 重要ナル工場、事業場及試験研究施設等

ロ 轉換シタル理科系學校ニシテ工場、事業場等ニ於テ現場實習ヲ實施スルモノニ付テハ原則トシテ當該工

場、事業場等

ハ 坑内ニ於テハ技能實習ノ場合ノ外採炭採礦作業支柱作業等ニハ原則トシテ從事セシメザルコト

ニ 外地外國ニ於ケル工場、事業場等ヘノ動員ハ原則トシテ之ヲ行ハザルモ第三學年中軍委託生及滿洲國給費生並ニ特ニ集團配置ヲ行フベキ特別ノ事情アル第二學年生ニ付テハ此ノ限ニ非ザルコト

2 割當配置

學徒勤勞ニ對スル受入側ノ需要數ハ厚生省ニ於テ之ヲ取纏メ關係省ト協議ノ上需要割當ヲ決定シ之ニ對スル學徒ノ出動配屬ニ關スル措置ハ文部省コレヲ行フコトトシ要スレバ關係省ト協議スルコト

二 醫學及商科醫學

1 動員方針及動員期間

イ 集團配置ヲ原則トスルコト

ロ 第四學年及第三學年ハ通年動員スルチ原則トシ所定ノ病院等ニ於テ實習勤務ニ服セシムルコト

ハ 第二學年及第一學年ハ臨時緊急ナルモノニ動員スルコト

2 出 動 先

軍病院、工場事業場附屬病院、學校附屬病院、綜合病院及醫學關係試驗研究施設等

3 割當配置

文部省ニ於テ陸、海、厚生各省等ト協議ノ上割當配置ヲ決定スルコト

三 藥學關係

1 動員方針及動員期間

イ 第三學年ハ通年動員ヲ原則トシ分散又ハ集團配置ヲナスコト

ロ 第二學年ハ集團配置ヲ原則トシ通年動員スルコト

ハ 第一學年ハ臨時緊急ナルモノニ動員スルコト

2 出 動 先

病院、製藥及化學工場、試驗研究施設

3 割當配置

病院、試驗研究施設ヘノ動員ハ醫學及齒科醫學ニ準ジ工場事業場ヘノ動員ハ工礦關係ニ準ジテ取扱ヒ兩者ノ調整ハ關係省ト協議ノ上文部省之ヲ行フコト

四 農學關係

1 動員方針及動員期間

イ 農藝化學科、纖維化學科、製糸科ハ工礦關係ニ準ジテ取扱フコト

ロ 其ノ他ノモノハ必要ニ應ジ適宜動員スルモ特ニ高學年ニ重點ヲ置クコト

2 出 動 先

イ 農藝化學科、纖維化學科製糸科ハ工場、試驗研究施設等

ロ 其ノ他ノモノハ食糧増産其ノ他農林水産業、試驗研究施設及國防施設事業等

3 割當配置

イ 農藝化學科、纖維化學科、製糸科ハ工礦關係ニ準ジテ取扱フコト

ロ 其ノ他ノモノハ文部省ニ於テ關係省ノ要求ヲ勘案シ割當配置ヲ定ムルコト

五 其ノ他ノ理科關係

1 動員方針及動員期間

イ 其ノ履修スル學科ノ種別ニ應ジ其ノ專門ヲ最モ能率的ニ發揮セシムルチ自途トシ必要ニ應ジ適宜動員スルコト

ロ 第三學年及第二學年ハ通年動員スルコト
 ハ 第一學年ハ臨時緊急ナルモノニ動員スルコト

2 出 動 先
 夫々専攻科ノ技能ヲ活用シ得ル如ク措置スルコト

3 割 當 配 置

文部省ニ於テ關係省ノ需要數ヲ勘案シ割當及配置ヲ定メ動員スルコト

乙 文科系學生徒

1 動員方針及動員期間

イ カメテ特能ヲ發揮シ得ル如ク措置スルコト

ロ 食糧増産、國防施設事業、運輸及防空施設事業等ニ對スル動員ハ必要ニ應ジ適宜動員スルコト

ハ 工場、事業場ニ對スル動員ハ通年動員トシ高學年ヨリ順次之ヲ行ヒ作業種目等ニ依リ作業效率ヲ低下スルコトナキ場合ハ循環交替ヲ考慮スルコト

ニ 削除

2 出 動 先

食糧増産、國防施設事業又ハ工場、事業場（輸送ヲ含ム）等ノ作業ニ動員スルコト但シ港灣仲仕中仲仕作業ヲ除クコト

3 割 當 配 置

工場、事業場ニ對シテハ工賃關係ニ準ジ其ノ他ニ付テハ農藝化學科、纖維化學科、製糸科以外ノ農學關係ニ準ジテ取扱フコト

丙 教員養成諸學校

一 工業關係實業學校教員養成所及青年師範學校ノ工業科ハ大學專門學校工賃關係ニ準ジテ取扱フコト

二 農業教育專門學校及青年師範學校（工業科ヲ除ク）ハ大學專門學校農學關係ニ準ジテ取扱フコト

三 其ノ他ノモノハ大學專門學校文科系ニ準ジテ取扱フコト

丁 高等 學 校（大學豫科ヲ含ム）

大學專門學校文科系ニ準ジテ取扱フコト

第二 中 等 學 校

一 工 業 學 校

1 動員方針及動員期間

イ 其ノ専攻學科ニ應ジ地域的集團配置ヲ原則トスルコト

ロ 國民學校初等科修了程度ヲ以テ入學資格トスルモノノ第五、四、三學年、國民學校高等科修了程度ヲ以テ入學資格トスルモノノ第三 第二學年ヲ主トシテ原則トシテ通年動員スルコト

ハ 其ノ他ノモノハ臨時緊急ナルモノニ動員スルコト

ニ 學科ノ種類、施設並ニ土地ノ狀況ニヨリ必要アル場合ハ學校ヲ工場化シ之ニ動員スルコト

2 出 動 先

大學專門學校工賃關係ニ準ジテ取扱フコト

3 割 當 配 置

厚生省ニ於テ取極メタル需要數ニ基キ關係省ト協議ノ上産業別（指定工場、管理工場及第一種工場ハ工場別分類ヲ附ス）及府縣別需要割當ヲ決定シ之ニ對スル學徒ノ出動配屬ニ關スル措置ハ文部省ニ於テ決定ノ上地方廳

ニ移際スルコト但シ地方廳ニ於テ變更ノ餘地ヲ殘スコト
 尙文部省ニ於テ學徒ノ配置原案ヲ作成スル場合ニハ必要ニ應ジ關係各省ト協議スルコト

二 農業學校

大學專門學校、農藝化學科、纖維化學科、製絲科以外ノ農學關係ニ概テ準ズルモ割當配置ハ地方廳ニ於テ行フナ
 原則トシ必要ニ應ジ文部省又ハ地方行政協議會ニ於テ調整スルコト

三 中 學 校

1 動員方針及動員期間

イ 工場、事業場ニ對スル動員ハ通年動員トシ高學年ヨリ順次之ヲ行ヒ作業ノ種目等ニ依リ作業ノ效率ヲ低下
 スルコトナキ場合ハ循環交替ヲ考慮セシム

ロ 削除

ハ 國民學校初等科修了程度ヲ以テ入學資格トスル中學校第一學年及第二學年ノ生徒ハ土地ノ狀況竝ニ身心ノ
 發達ヲ考慮シ適當ナル作業ヲ選ビ出動セシムルコト

2 出 動 先

大學專門學校文科系ニ準ジテ取扱フコト

3 割 當 配 置

學徒ノ出動配屬ニ關スル措置ハ地方廳ニ於テ行フナ原則トシ必要ニ應ジ文部省又ハ地方行政協議會ニ於テ調整
 スルコト

四 商 業 學 校

1 動員方針及動員期間、出動先

概テ工業學校ニ準ジテ取扱フナ原則トシ土地ノ狀況等ニ準ジ食糧増産、國防及防空施設事業等ニモ動員スルコ
 ト

2 割 當 配 置

概テ商業學校ニ準ジテ取扱フコト

第三 女子ノ學校

1 動員方針及動員期間、出動先

イ 可及的學校設備ヲ工場化シ其ノ學校ノ生徒ヲ之ニ動員スルコト

ロ 工場、事業場ニ對スル動員ハ前項ニ依ル動員ノ餘力ニ付通年動員トシ高學年ヨリ順次之ヲ行ヒ作業種目等
 ニ依リ作業效率ヲ低下スルコトナキ場合ハ循環交替ヲ考慮スルコト

ハ 削除

ニ 出動ハ通動ヲ立前トスルモ宿舍ノ完備セル場合ニ限り教職員附添ヒノ上宿泊勤務セシムルコトヲ得ルコト

ホ 國民學校初等科修了程度ヲ以テ入學資格トスル高等女學校、第二學年及第一學年ハ中學校第二學年及第一
 學年ニ準ジテ取扱フコト

ヘ 特殊ノ専門的技術ヲ授ケル學校ノ學徒ヲ工場、事業場ニ出動セシメル場合其ノ専攻學科ニ員シ前各項ニ準
 ジテ取扱フコト

2 割 當 配 置

專門學校程度ノモノノ割當配置ハ文部省ニ於テ其ノ他ノモノノ割當配置ハ地方廳ニ於テ行フナ原則トシ必要ニ
 應ジ文部省又ハ地方行政協議會ニ於テ調整スルコト

第四 青 年 學 校

畫問通年ノモノニ付テハ夫々學科ノ種別及性別ニ應ジ中等學校ニ準ジテ取扱フコト
第五 各種學校

男子各種學校生徒ニ付テハ概ネ工業學校ニ準ジテ取扱フコト
第六 國民學校高等科

- 1 土地ノ狀況並ニ心身ノ發達ヲ考慮シ適當ナル作業ヲ選ビ勤勞スルコト
- 2 學徒ノ配置ハ地方應ニ於テ行フコト

備考

- 1 必要ニ應ジ種別ニ應ジ學校ノ種類程度ニ拘ラズ勤勞ノ機軸性ヲ發揮スルコト
- 2 文部省ニ於テ需要數ヲ取極メル部分ニ付テハ割當及配置後選考ナク厚生省ニ報告スルコト
- 3 國防建設事業ニ對スル學徒ノ割當ニ付テハ文部省ハ厚生省ト協議スルコト
- 4 本基準ハ情勢ノ變化ニ應ジ適時必要ナル調整ヲ加フルコト

學徒勤勞動員實施要領ニ關スル件

(昭和十九年四月二十七日) 文部次官 地方長官
厚生次官ヨリ 鐵山監督局長
軍需次官 軍需監理部長

現職局ニ應ジ盡ニ決戰非常措置ニ基ク學徒勤勞動員實施要領決定セラレ技ニ學徒盡忠ノ至誠ヲ傾ケテ勤勞報國ニ勤勞セラルル事ト相成タルニ付テハ同要領ニ依ル學校別學徒勤勞基準ニ準據シ且少左記要領ニ依リ學徒勤勞動員ノ積極果敢ニシテ且有效適切ナル運営ヲ圖リ學徒タルノ矜持ヲ堅持セシムルト共ニ戰力増強ニ充分ナル效率ヲ發揮セシムル機之ヲ實施ニ萬遺憾ナキヲ期セラレ度依命此段及通牒

記

- 一 學徒勤勞動員ハ大東亞戰爭現段階ニ對シ現下緊要ナル生産増強ヲ分擔スルモノニシテ之ガ運営ノ適否ハ本年度

所期生産必達ヲ左右スルモノナルコトヲ充分徹底セシムルコト

- 二 學徒ノ勤勞動員ハ學徒ノ教育實踐トシテ行フ勤勞協力ナル理念ニ徹シ作業場ヲシテ行學一體ノ道場ヲラシムルコト

- 三 學徒ノ奉公精神、敬養、規律ニ依リ作業場ヲ純眞且明朗ナラシムルコト

特ニ受入側ヲシテ學徒勤勞動員ノ勤勞即教育タルノ本義ヲ理解セシメ受入體制ノ整備並ニ學徒勤勞管理ニ遺憾ナカラシムルコト

- 四 學徒勤勞動員中成ルベク多數ノ教職員ヲシテ率先垂範陣頭指揮ニ當ラシメ以テ學徒ノ勤勞協力並ニ訓育ノ徹底ニ萬全ヲ期セシムルコト

- 五 學徒勤勞動員中受入側ヲシテ力メテ軍事教育其ノ他ノ時間ヲ設定セシメ學徒ノ教育養成ニ協力セシムルコト

六 學徒ノ體力健康狀態等ニ細心ノ注意ヲ拂ヒ特ニ工場、事業場等ニ於テハ保健衛生及救護ニ關シ必要ナル施設ヲ講セシムルト共ニ環境ノ變化ニ伴フ疲勞其ノ他心身ノ狀況ニ留意シ疾病事故ノ防止ニ力メシムルコト

- 七 特ニ工場、事業場等ニ於テハ安全教育ノ徹底ヲ期シ災害防止ニ力ムルコト

- 八 勤勞員學徒疾病又ハ傷害ヲ被リタル場合ニ於テハ治療其ノ他必要ナル措置ヲ敏速且懇切ニ行ハシムルコト

九 學徒一日ノ勤勞時間ハ一般従業員ト同様ニ取扱フヲ原則トスルモ學徒ノ年齢、性別及作業ノ性質等ヲ勘案シ不當ニ長時間ニ亘ラシメザルコト

- 一〇 學徒勤勞ニ對スル報償ハ學徒各人ニ對スル勞務ノ報酬ニ非ズシテ挺身奉公ノ協同業績ニ對スルモノナルヲ以テ一括學校報國隊長ニ之ヲ交付セシムルコト

一一 學徒勤勞動員ニ依リ生ズル經濟的負擔ハ受入側ニ於テ之ヲ負擔セシメ且協力ニ付必要ナル物品ハ出來得レバ現物ニヨリ之ヲ支給又ハ貸與セシムル様措置スルコト

- 一二 工場、事業場ニ於ケル學徒ノ勤勞管理ニ關シテハ文部、軍需、厚生等關係各省緊密ナル聯繫ヲ保テ之ヲ指導監督ニ當ルベキヲ以テ地方廳ニ於テモ内政部及警察部其ノ他關係部課協力一致シ之ヲ指導監督ニ當ラシムルハ勿論軍需監理部其ノ他關係機關ト緊密ナル聯繫ヲ保テ勤勞管理ノ刷新整備ノ指導ニ當ルコト
- 一三 學徒勤勞員ノ割當配置ハ決戦非常措置ニ基ク學徒勤勞員實施要綱ニ依ル學校別學徒勤勞員基準ニ依リ處理スベキ地方廳ニ於テ行フ中等學校以下學徒ノ工場、事業場別ノ割當事務ハ勤勞ヲ擔當スル部局、出勤配屬ハ概ネ左記事項考慮ノ上教學關係擔當部局ニ於テ處理セシムルコト
 - イ 學徒勤勞員ノ法的措置ニ就イテハ目下考中ナルモ差當リ國民勤勞報國協力令ニ依ルモノトシ右ニ依リ得ザルモノニ關シテハ學徒ノ勤勞協力ニ關スル臨時ノ通牒ノ趣旨ニ依ルコト
 - ロ 學徒ノ出勤配屬ニ當リテハ力メテ學校ノ程度種別並ニ學科、學年、性別等ニ應ジ其ノ適正ナ期スルコト特ニ中等學校低學年生徒國民學校ノ兒童ノ出勤ニ關シテハ當該地域ノ實情ニ即應シ適切ナル作業ヲ選定スルコト
 - ハ 成ルベク通勤範圍ノ學校ヲ出勤セシムベキモ當該地方ノ勤勞需給ノ狀況ニ依リ止ムテ得ザル場合ニハ宿泊施設完備セルモノニ付通勤範圍以外ノ學校ヲ出勤セシメ得ルコト
 - ニ 同一學校ノ學徒ハ同一場所ニ出勤配屬セシメ己ムテ得ズ分割配屬ヲ要スル場合ニ於テモ學年、學級ヲ單位トスルコト

- 一四 地方ノ需給ノ情況ニ依リ當該都道府縣内ノ學徒ノミヲ以テ出勤配屬困難ナル場合、交通機關ノ關係上他都道府縣内ノ學徒ヲ出勤セシムルヲ可ト認メタル場合又ハ勤勞ノ程度他地方ト甚シク差異アリト認ムル場合ニ於テハ地方長官ハ當該都道府縣ノ屬スル地方行政協議會ニ之ヲ調整申出ヅルコト地方行政協議會ノ所管地域外ノ地域ト調整ヲ必要トスル場合其ノ他特ニ必要アリト認ムル場合ニ於テハ地方行政協議會長ハ之ヲ調整テ文部省ニ申出ヅルコト
- 一五 出勤期間中ト雖モ地方長官學徒勤勞員ノ繼續ヲ不必要ト認ムル場合又ハ其ノ運営不適當ト認ムル場合ハ入所所

管官廳ト協議ノ上出勤命令ヲ停止スルコトトシ且其ノ旨文部省及厚生省ニ報告スルコト

(イ) 決戦非常措置要綱ニ基ク學校工場化實施ニ關スル件

(昭和十九年四月二十八日 文部次官ヨリ地方長官)
 勅 九 九 號 次 長

決戦非常措置要綱ニ基ク學校工場化實施ニ關シ今般別紙要綱ノ如ク決定相成タル處學校工場化ハ生産力増強ノ要請ニ即應シ學徒勤勞員ヲ適正ニ實施シ其ノ效率ヲ最高度ニ發揮シ得ベキ旨途ニ合スル場合ニ於テ之ヲ行フモノトシ特ニ左記事項ニ御留意ノ上實施上萬遺憾ナキヲ期セラレ度此段依命及通牒

記

- 一 要綱一ニ依ル承認ハ要綱各項ニ照準シ且少關係工場、軍作業場、官公署等ト當該學校トノ地理的關係、勞務需給情況等ヲ考慮シ之ヲ爲スコト
- 二 要綱二ニ依リ地方廳ニ對シ學校工場化ノ申請アリタル場合ニハ當該工場等トノ地理的關係、勞務需給ノ情況、校地校舍設備ノ情況等ヲ勘案シ適當ナル學校ヲ斡旋シ當該學校長ヲシテ要綱一ニ依リ承認ヲ受ケシムルコト
- 三 要綱一ニ依リ承認ヲ經テ學校ヲ工場化シタル場合ニ於テ所要ノ學徒ニ對シテハ正式ニ出勤配屬ノ措置ヲ講シ當該學徒ニ對シ重複シテ學校外ノ勤勞ニ出勤配屬ヲ命ズルガ如キコトナキ様留意スルコト
- 四 工場、事業場へ出勤配屬アリタル後ニ於テ學校ヲ工場化シタル場合ニ於テハ文部省又ハ地方廳ノ承認ヲ經テ出勤セル當該學校ノ學徒ヲ右學校工場ニ勤勞スルコト
- 但シ出勤前學校工場化ニ付手續中ノモノニ付テハ可及的其ノ親工場ニ勤勞シ置クコト
- 前項ノ場合文部省又ハ地方廳ハ必要ニ應ジ勤勞員學徒ノ配置轉換ヲ行フコト
- 五 女子ノ學校ニ付テハ可及的工場化ヲ促進スル様特ニ斡旋スルコト

六 要綱三、2ノ場合ニ於テ經營上ノ責任、生産責任ハ學校側ノ負擔スル所ニアラザルモ要綱四 3ニ依リ學校長チシテ學徒ノ勤勞ヲ指導シ豫定セル生産ノ量及質ヲ確保セシムルコト

七 要綱一第三項ノ所管地方廳ニ關シテハ學校長チシテ要綱備考4ニ付關係工場ト連絡シテ了知セシムルコト
決戦非常措置要綱ニ基ク學校工場化實施要綱

決戦非常措置要綱第一項(3ニ依ル學校ノ工場化ハ生産力増強ノ要請ニ即應シ學徒勤勞員ヲ適正ニ實施シ其ノ效率ヲ最高度ニ發揮シ得ベキ目途ニ合スル場合ニ之ヲ行フモノトシ概ネ左ノ基準ニ依ル

一 學校ノ工場化ハ當該學校長チシテ具體的ニ計畫案ヲ具シ大學高等專門學校ニ在リテハ文部省、中等學校ニ在リテハ所管地方廳ニ稟議シ其ノ承認ヲ經タル上之ヲ實施セシム

文部省又ハ地方廳ニ於テ前項ノ承認ヲナス場合ハ關係各廳ニ協議ス
學校長第一項ノ具體的計畫案ヲ作成スルニ當リテハ所管地方廳ト豫メ打合チナスモノトス

二 國民勤勞報國協力令第二條ニ規定スル者學校ノ工場化ヲ圖ラントスル場合ハ左ノ區分ニ依リ文部省又ハ地方廳ニ對シ申請ス

イ 大學高等專門學校ニ付テハ主管省ヲ經由シテ文部省
ロ 中等學校ニ付テハ所管地方廳經由ノ上地方廳

三 學校ノ工場化ハ概ネ左ノ方式ニ依ル
1 學校校舍、校地、設備ヲ特定工場、軍作業廠ノ分工場ニ轉用シ之ニ當該學校ノ學徒ヲ勤勞員ス

2 學校ノ校舍、校地、設備ヲ活用シ又ハ所要ニ應ジ機械其ノ他設備ノ讓受又ハ貸與ヲ得テ特定工場及官公署等ヨリ生産修理ノ委託ヲ受ケ其ノ作業ニ當該學校ノ學徒ヲ勤勞員ス

四 學校ノ工場化セル場合ニ於ケル經營上ノ責任及經費ノ負擔ハ概ネ左ニ依ル

附 錄

1 前項1ノ場合ニ於テ校地校舍設備ノ轉用ハ學校校舍轉用ニ關スル具體的實施要綱(四月一日次官會議決定)ノ趣旨ニ則リ之ヲ措置シ右以外ニ工場運轉上必要ナル一切ノ設備ハ工場側ノ負擔トス經營上ノ責任ニ付亦同ジ

2 前項2ノ場合ニ於テ原材料ノ手當、動力費其ノ他生産、修理ニ必要ナル一切ノ資材、經費及危險ノ負擔ハ生産、修理ヲ委託スル工場及官公署側ノ負擔トス機械其ノ他設備ノ讓受又ハ貸與ヲ受ケル場合ニ於テ機械ノ据付其ノ設備運轉ニ必要ナル經費ニ付亦同ジ

3 前號ノ場合ニ於テ學校長ハ學徒ノ勤勞ヲ指導シ豫定ノ生産量ヲ確保スルモノトス
4 第一號及第二號ノ場合ニ於テ技術、作業管理等ニ關シ生産修理ヲ委託セル工場及官公署ニ於テ所要ノ指導及援助ヲナス

五 學校ノ工場化セル場合ニ於ケル勤勞員學徒ノ取扱ハ第三項1ノ場合ハ一般學徒勤勞員ノ場合ト同様トス但シ第三項2ノ場合ニ於テモ之ニ準ズ

六 學校ノ工場化スル場合ニ於ケル學徒ノ出勤配屬ハ概ネ左ニ依ル
1 第三項1ノ場合ニ於テハ一般學徒勤勞員ノ場合ト同様トス

2 第三項2ノ場合ニ於テハ生産、修理ノ委託ヲ爲シタル者ノ要求又ハ申請ニ依リ國民勤勞報國協力令ニ依リ勤勞員ヲ爲シタルモノト同様ニ取扱フ

七 學校ノ工場化セル場合ノ勤勞員學徒ニ對シテハ當該作業ニ從事スル工員ニ準ジ食糧其ノ他ノ物資ヲ給與スル如ク工場側ニ於テ考慮スルモノトス
八 學校ノ工場化ヲ廢止スル場合ハ工場側ニ於テ原形ニ復スル如ク措置ス

備考
1 女子ノ學校ニ付テハ特ニ其ノ工場化ヲ促進ス

- 2 本要綱實施ノ際現ニ第一項ノ趣旨ニ依リ承認ヲ經テ學校ヲ工場化セルモノニ付テハ本要綱ニ依リ承認ヲ經テ實施セルモノト看做ス
- 3 學徒勤勞員ニ關スル學校側指導要領、受入側指導要領等ハ學校ヲ工場化セル場合ニモ之ヲ適用ス
- 4 一、第三項及二、ロノ所管地方廳トハ左ノ各號ニ依ル
 - イ 陸軍關係ノモノニ在リテハ所管軍需勤勞員部隊ヲ通シ軍需勤勞員地方協議會長
 - ロ 海軍作業廳ニ在リテハ所管鎮守府、海軍關係民間工場ニ在リテハ海軍監理長若ハ海軍監督長
 - ハ 航空兵器及生産擴充部門關係ノモノニ在リテハ軍需監理部
 - ニ 各省共管ノモノニ在リテハ各連絡擔當省ノ工場監督官

(ロ) 決戦非常措置要綱ニ基ク學校工場化實施ニ關スル件

(昭和十九年四月二十八日 文部次官ヨリ學校長)
 (勅 總 九 號 次 長)

標記ノ件ニ關シ今般別紙要綱(イ參照)ノ如ク決定相成タルニ付實施上遺憾ナキヲ期セラレ度此段依命及通牒
 追而地方長官宛別紙(イ要綱參照)ノ如ク通牒相成候條參考迄送付

學徒勤勞員ニ關スル件 (昭和十九年四月二十八日 第二部長ヨリ教學課長)

今般某縣ヨリ標記ノ件ニ關シ左記ノ件ニ關シ左記甲號ノ通照會有之右ニ對シ乙號ノ通回答致シタルニ付御了知相成度

(甲 號)

記

今般某師團兵務部長ヨリ學徒勤勞員ニ關シ將校生徒志願者ヲ特別ニ取扱ハレ度旨依頼越有之候ニ就テハ之ガ處置ニ關シ
 何分ノ御指示相賜リ度此段及照會候

追而本縣ニハ既ニ四五〇名餘ノ中等學校生徒ガ通年勤勞員トシテ各工場ニ配屬中ニテ之ガ中ニハ陸軍士官學校及海軍
 兵學校受驗ノ者モ多數含マレ居候ニ就テハ至急御回報願上候

(乙 號)

本月二十一日敎號外ヲ以テ貴縣教學課長ヨリ標記ノ件ニ關シ照會有之タル處中等學校生徒ノ上級學校入學者選拔ニ付
 テハ學徒ノ通年勤勞員ノ實施ヲ十分考慮ノ上其ノ適當ナル方法ヲ近ク正式發表ノ見込ナルモ上級學校入學志願者ニ
 付其ノ志願ノ故ヲ以テ學徒勤勞員上他ノ生徒ト差別スルガ如キハ適當ナラザルモノト御了知相成度
 追而本件ニ付テハ陸軍當局ト協議濟ニ付爲念

工場事業場等學徒勤勞員受入側措置要綱ニ關スル件

(昭和十九年五月三日 文部省總務局長ヨリ地方長官)
 (勅 總 一 一 號 厚生省勤勞局長ヨリ軍需省總動員局長)

學徒勤勞員實施要領ニ關シテハ四月二十七日付官總發六號次官通牒ヲ以テ指示相成タル處今般工場事業場等學徒勤
 勞員受入側措置ニ關シ別紙ノ如ク要綱決定相成タルニ付之ガ實施ニ萬遺憾ナキヲ期セラレ度此段及通牒候

工場事業場等學徒勤勞員受入側措置要綱

第一方 針

大東亞戰爭決戦ノ現段階ニ鑑ミ決戦非常措置ニ基ク學徒勤勞員實施要綱ニ依リ學徒盡忠ノ至誠ト勤勞即教育ノ本義ニ
 徹スル學徒勤勞員ノ積極的ニシテ且有效適切ナル運営ヲ圖ルベキ受入側態勢ヲ確立セシムルモノトス

第二要 領

一 協力申請（請求）

(一) 學校報國隊ノ協力申請（請求）ハ當分ノ間國民勤勞報國協力令ニ基ク協力申請（請求）書ニ依リ大學高等專門學校及師範學校ノ學校報國隊ノ出動ニ關シテハ文部大臣及厚生大臣、中等學校以下ノ出動ニ關シテハ地方長官ニ之ヲ爲スコト、國民勤勞報國協力令ニ依リ得ザルモノニ關シテモ之ニ準ズル手續ニ依ルコト

學校報國隊ノ割當配置ニ關シテハ學校側ノ希望ヲ參酌シテ之ヲ爲スコト

(二) 協力申請（請求）ハ眞ニ必要ナル最少限度トシ且豫メ配置スベキ作業ニ關シテ詳細ナル具體計畫ヲ作成シ置クコト

(三) 通勤シ得ル距離内ノ學校ヨリ協力ヲ受ケルコト能ハザル場合ハ宿泊施設ヲ準備シ申請（請求）書ニ其ノ旨ヲ明記スルコト

(四) 協力ヲ受ケル隊員數ハ原則トシテ工續關係大學專門學校第三學年以外ハ概ネ學級又ハ學年ニ相當スル程度ノモノヲ單位トスルコト

二 受 入 津 備

(一) 學校報國隊ノ動員決定シタルトキハ直ニ學校當局ト緊密ニ事前連絡ヲ行フコト

(二) 職員中學校備トノ連絡者ヲ特定シ置キ學校トノ連絡ニ當ラシムルコト

(三) 事前連絡テ要スル事項左ノ如シ

一 作 業 内 容

一 勤勞時間、食事給與其ノ他勤勞條件

一 宿舍ノ狀況、保健施設特ニ醫療ニ關スル設備

一 其ノ他必要ナル事項

(四) 事前ニ係員ヲ學校ニ派遣シ教職員ト協力シ出動スベキ學徒ニ對シ所要ノ豫備知識ヲ與フルコト尙要スレバ豫備訓練ヲ實施スルコト

(五) 學徒動員受入專任擔當者、作業指導者、作業指導補助者其ノ他ノ係員ヲ選任スルコト

(六) 一般從業員及作業指導者等ニ對シ豫メ學校報國隊協力ノ趣旨ヲ周知徹底セシメ其ノ取扱處遇ニ遺憾ナキナ期スルト共ニ苟モ學徒ノ勤勞ニ挺身セントスル至誠ノ情ヲ冷却セシメ又ハ學徒ノ教育訓練ニ惡影響ヲ及ボスガ如キコト絕對ナカラシムルコト

三 隊員ノ身分取扱

(一) 將來ノ就職ト睨ミ合セ分散シテ配置セラレタル者ハ職員ニ準ジ處遇スルコト

(二) 學校教職員ハ幹部職員ニ準ズル等相當ノ處遇ヲ爲スコト

(三) 長期ニ動員セラルル學徒ハ健康保險ノ被保險者タラシムル豫備措置スルコト、此ノ場合被保險者ノ負擔スベキ保險料ハ受入側ニ於テ便宜支拂フコト

四 教育訓練ニ對スル協力

(一) 受入側ハ常ニ學徒ノ勤勞動員ハ勤勞即教育タルノ本義ヲ理解シ派遣責任教職員ト協力ノ上學徒ノ教育訓練ニ遺憾ナカラシムルコト

(二) 受入側ハ勤勞時間中軍事教育、教授、訓育等ノ爲一週六時間ヲ原則トスル時間ヲ設ケルコト尙作業休憩時間、休日等アラニル時間ヲ活用スルモノトシ受入側ハ之ニ協力スルコト作業ノ情況ニ應ジ前項ノ時間ハ適宜集約又ハ分散的ニ實施シ得ル豫備措置シ得ルコト

五 勤勞協力ニ關スル指導監督

- (一) 學校ノ出缺、勤怠、志氣ノ昂揚其ノ他勤勞協力ニ關スル精神指導並ニ身分上ノ監督ハ派遣責任教職員之ヲ行フモノトシ受入側ハ緊密ニ之ト連繫スルコト
- (二) 學徒ノ作業上ノ指導並ニ就業時間、休憩、休日、危害防止等ニ關スル勤勞管理上ノ指導監督ハ豫メ派遣專任教職員ト協議ノ上受入側ニ於テ定ムル作業指導擔當者之ヲ行フコト
- (三) 勤勞開始ニ當リテハ作業ノ種類ニ應ジ出來得ル限り一定ノ教育訓練期間ヲ設ケ派遣責任教職員ト一體トナリ作業並ニ勤勞生活ニ慣レシムル様指導ヲ行フコト

六 勤務

- (一) 同一學校報國隊ノ隊員ハ成ルベク集團シテ同一作業場所ニ於テ作業セシムル様措置シ止ムテ得ズ作業場所ヲ分ツ場合ニハ之ニ應ズル部班組織ニ依リ勤務セシムルコト
- 特ニ女子學徒ハ男子從業員又ハ男子學徒ト混在シテ作業セシメザルコト
- (二) 學徒ノ體力、健康狀態、熟練度等ヲ考慮シ狀況ニ依リ勤務ノ種類及場所ヲ變更スルコト
- (三) 弱者ニ對シテハ特別ノ部班ヲ組織シ適當ナル勤務ニ服セシメ之ガ保育ニ着意シ指導スルコト
- (四) 一日ノ勤務時間ハ一般從業員ト同等ニ取扱フテ原則トスルモ十時間(休憩等ノ時間ヲ含ム)以内ヲ原則トシ殘業ヲ課スル場合ト雖モ十二時間ヲ越エザルコト尙學徒ノ年齢、性別及作業ノ性質等ニ即應セシムルト共ニ作業ト慣熟セザル期間ハ適宜短縮スルコト
- 交替ノ狀況等ヲ勘案シ必要アル場合ハ通勤時間ニ按配テ加フルコト
- (五) 交替制ニ依ル深夜(午後十時ヨリ翌朝午前五時ニ至ル間)就業ハ男子ニノミ之ヲ課スルコトヲ得ルモ出勤後二ヶ月間ハ之ヲナサシメザルコト
- (六) 女子學徒及中等學校第三學年以下ノ男子學徒ニ對シテハ前號ノ深夜就業及殘業ハ之ヲ課セザルコト

附 錄

- (七) 休暇ハ一般從業員ト同様トスルモ作業ニ慣熟セザル期間ハ出來得レバ週休トスルコト
- 七 災害ノ防止、疾病ノ豫防並ニ災害疾病ノ措置
 - (一) 災害防止設備ヲ完全ナラシメ設備不完全ナルカ又ハ有害有毒ナル場所ニ於テ作業セシメザルコト
 - (二) 隊員ノ安全教育ヲ徹底セシムルト共ニ派遣責任教職員ト協力シ災害防止ニ努ムルコト
 - (三) 學徒ノ保健、衛生救護ニ關シ必要ナル施設ヲ整備スルト共ニ常ニ學徒ノ疲勞其ノ他心身ノ狀況ニ留意シ疾病事故ノ防止ニ力ムルコト
 - (四) 死亡、負傷、疾病等ノ事故ニ對シテハ受入側ニ於テ工場法、労働者災害扶助法等ニ定ムル扶助ヲ爲スコト
 - 死亡ノ場合ノ弔慰金ハ別表ノ基準ニ據ルコト
 - 前二項ノ扶助等ヲ爲ス場合ニ於テハ弔慰、治療、慰謝其ノ他懇切且精神的ナル配慮ヲ加フルコト
 - (五) 隊員ノ死亡其ノ他重大ナル事故ハ直チニ學校、監督官廳及父兄ニ成ルベク詳細ニ報告スルコト
- 八 宿泊其ノ他ノ設備
 - (一) 通勤シ得ザル場合隊員ノ宿泊施設ハ受入側ニ於テ之ヲ爲スコト
 - (二) 宿泊ハ一般從業員ト區別セシメ派遣責任教職員附添ノ上一團トシテ收容セシムルコト、特ニ女子隊員ノ場合ハ必ず女子専用宿舍ニ收容シ且女子ニ必要ナル施設ヲ整備スルコト
 - (三) 學徒ニ對スル宿泊時ノ生活訓練ハ派遣責任教職員之ニ當ルコトトシ受入側ハ之ニ協力スルコト
 - (四) 宿泊中ハ特ニ保健、衛生、風紀等ニ付萬遺憾ナキ様措置スルコト
 - (五) 宿泊長期ニ亘ル場合ハ教育訓練、修養娛樂休養ノ設備ヲ整備スルコト
 - (六) 便所ハ糞ヲ左ノ標準ニ依リ之ヲ施設スルコト、特ニ女子隊員ノ場合ハ必ず女子専用トスルコト

作業場	五〇人ニ付	大便所	男子 二	女子 二
宿舎	二〇人ニ付	大便所	男子 二	女子 二
		小便所	男子 一	女子 一

九 食事其ノ他ノ給與

- (一) 食糧等ハ一般従業員ト概テ同様ニ給與致サルベキモ詳細ハ追而農商省ヨリ指示アルベキニ付右ニ依ルコト
- (二) 協力ニ付必要ナル作業用品類(作業衣、作業帽、地下足袋、手袋等)ハ出來得レバ現物支給又ハ貸與トシ且一般従業員ト同様ニスルコト

10 報 償

- (一) 學徒勤勞ニ對スル報償ハ學校報國隊ノ協同業績ニ對シ納付セラルルモノナルヲ以テ一括學校報國隊ニ納付スルコト
- (二) 報償ハ基本報償及特別報償ノ二種トスルコト
- (三) 基本報償ハ學校ノ程度ニ應ジ一定月額トシ作業ノ種類ハ原則トシテ之ヲ考慮セザルコト
- (四) 特別報償ハ受入側一般従業員ニ對シ殘業手當、深夜就業手當、賞與又ハ臨時ノ給與ヲ支給スル例ニ依リ之ヲ納付スルコト
- (五) 受入側ハ毎月一定期日ニ基本及特別報償ノ別ニ依リ明細書ヲ附シ一括學校報國隊長ニ納付スルコト

一一 賞 費 辨 償

- (一) 通勤ニ要スル交通費ハ受入側ニ於テ負擔シ成ルベク隊員ニ定期券ヲ購入シ交附スルコト
- (二) 宿泊ノ場合學校所在地ト作業地トノ往復旅費(三等料金、要スレバ急行料、辨當料、途中宿泊費)ハ受入側ニ於テ賞費ヲ負擔スルコト、但シ辨當料ハ一食ニ付五十錢ヲ標準トスルコト
- (三) 隊員ノ父母妻子ノ死亡(危篤ノ場合ヲ含ム)ノ際ニ於ケル隊員ノ歸省ノ場合ハ往復旅費ヲ支給シ隊員ノ危篤又ハ死亡ノ際ニ於ケル家族ノ出頭ノ場合ハ家族二人ヲ限リ往復旅費及必要ナル滞在期間中ノ滞在費ヲ受入側ニ於テ支給スルコト

一二 其 ノ 他

- (一) 文部大臣又ハ地方長官必要アリト認ムル場合ハ出勤中ノ學校報國隊ノ協力ヲ取消スコトアルベキコト
- (二) 隊員ノ養護特ニ疾病傷病等ニ對スル措置ニ付テハ派遣責任教職員ノ指示ニ從ヒ周到ナル措置ヲ講ズルコト
- (三) 女子隊員ニ付テハ女子勤勞者保護ニ關スル諸規定ノ定ムル所ニ依リ所要ノ措置ヲ講シ萬全ヲ期スルコト
- (四) 學校ニ於テ勤勞協力出勤ニ當リ身體檢査ヲ實施スル場合ハ成ルベク受入側ヨリ醫員等ヲ派遣シ協力スルコト
- (五) 派遣責任教職員ニ對シテハ交通費、旅費其ノ他必要ナル經費ハ別途指示ニ從ヒ受入側ニ於テ負擔シ別途支給スルコト

別 表 一

甲 慰 金 基 準

- (1) 業務外死亡ノ場合
- (2) 業務上ノ死亡ノ場合

三〇〇圓
五〇〇圓

基本報償算定基準

性別	學 校 別	一人當月額(圓)
男 子	大 學	七 〇
	專門學校、高等學校、高等師範學校、青年師範學校、大學預科、師範學校(本科)	六 〇
	中等學校第三學校以上又ハ之ニ準ズルモノ、師範學校(豫科)	五 〇
	專門學校、師範學校(本科)、青年師範學校	五 〇
	中等學校又ハ之ニ準ズルモノ、師範學校(豫科)	四 〇
女 子		

備考

- 一 月ノ中途ニ於ケル出勤若ハ退去又ハ缺勤ニ對シテハ日割計算(一月ヲ三十日ト看做ス)トス
- 二 受入側ニ於テ宿舍及食事ヲ供スル場合ハ一般従業員ヨリ徴收スル金額相當額ヲ控除シ算定スルモノトス

特別報償算定基準

- (一) 殘業ニヨルモノ
一人殘業一時間ニ付基本報償算定基準月額ノ二百分ノ一
- (二) 深夜就業ニヨルモノ
一人一回ニ付 一圓

- (三) 賞與又ハ臨時給與
一般従業員支給ノ例ニ依リ算出シタル額
- (四) 協力終了ノ際ニ支拂フモノ
一人ニ付基本報償算定基準月額ノ三分ノ一

決戦非常措置要綱ニ基ク中等學校教育内容ニ關スル措置要綱實施基準

竝ニ生徒ノ成績評定基準ニ關スル件 (昭十九年五月三日國民教育局長ヨリ地方長官) (發國二七九號)

客月二十四日附發國一九二號ヲ以テ決戦非常措置要綱ニ基ク中等學校教育内容ニ關スル措置要綱ニ付通牒相成タル處今般別紙ノ通本要綱實施基準竝ニ生徒ノ成績評定基準ヲ相定メ實施ノ適正ヲ期セシムルコトト相成タルニ付テハ萬遺憾無キ様御措置相成度此段及通牒

決戦非常措置ニ基ク中等學校教育内容ニ關スル措置要綱實施基準

決戦非常措置ニ基ク中等學校教科教授及修練指導ニ關シテハ昭和十九年三月二十四日發國一九二號文部次官通牒ニ則リ左記基準ヲ參照ノ上動員期間、現場ノ狀況、學校ノ職員組織等ノ實際ニ應ジテ適切ナル措置ヲ講ズルモノトス

一 中 學 校

第一、第二學年ニ在リテハ「教育ニ關スル戰時非常措置方策ニ基ク中等學校教育内容措置要綱」ニ依ルコト但シ勤勞動員三箇月以上實施セラレタル場合ニ在リテハ第三學校以上ノ場合ニ準ズルコト

第三學年以上ハ「教育ニ關スル戰時非常措置方策ニ基ク中等學校教育内容措置要綱」ノ趣旨ニ則リ概ネ左記ヲ基準ト

シテ措置スルコト

一 通年勤勞動員ノアリタル場合

- (一) 勤務時間中一週六時間ヲ原則トシテ授業時ヲ特設スルコト
- (二) 特設授業時ヲ活用シ最少限左ノ事項ニ付重點的ニ要點ヲ課スルコト
 - 體鍊科教練 每週凡三時
 - 理數科數學及軍事科學ニ關スル教材ハ之ヲ重視シテ取扱フコト
 - 理數科物象 現場作業ト關聯セシメテ取扱フコト
- (三) 特設授業時ニ餘裕アル場合及其ノ他適當ナル時間ヲ利用シ左ノ教科中ヨリ必要ナルモノヲ適宜選擇シ重點的ニ要點ヲ課スルコト但シ出動教員ノ擔任科目等ノ關係ニヨリ他ノ教科中必要ナル事項ヲ課スルヲ得ルコト
 - 國 民 科
 - 理 數 科
- (四) 適宜自學自修ノ指導ヲ爲スコト
- 二 八箇月以上勤勞動員ノアリタル場合ハ通年勤勞動員ノ場合ニ準ズルモノトシ尙勤勞員期間外ニ付テハ三ヲ參照ノ上其ノ實情ニ即シテ適宜措置スルコト
- 三 六箇月程度勤勞動員ノアリタル場合
 - 左ノ課程ヲ基準トシテ教員ノ組織其ノ他ノ情況ヲ斟酌シ適宜時間ノ配分ヲ行ヒ重點的ニ要點ヲ課スルコト
- 四 四箇月程度勤勞動員ノアリタル場合
 - 「教育ニ關スル戰時非常措置方策ニ基ク中等學校教育內容措置要綱」ニ依リ重點的ニ要點ヲ課スルコト
- 五 勤勞動員期間外ノ日曜日ハ概ネ隔週毎ニ數科及修練ニ充ツルコト
- 六 通年勤勞員ニアラザル場合ノ勤勞動員期間中ノ措置ニ付テハ一ニ準ズルコト
- 七 各學年ノ勤勞動員ノ程度及出動教員ノ擔任科目等ヲ勘案シ豫定授業總時數ノ範圍内ニ於テ適宜每週授業時數ノ變

第五學年ハ第四學年ニ準ズルコト

教科	學年		體鍊科	同體鍊科	同同體鍊科	藝能科	實業科又ハ外國語科	修	每週授業總時數
	第三學年	第四學年							
國民科	一	一							
修身	一	一							
國語	六	二							
漢文	二	二							
文法	一	一							
國語講讀	三	二							
漢文講讀	二	二							
文法讀	一	一							
理數科	一	一							
數學	二	二							
生物	五	五							
物象	二	二							
體鍊科	三	三							
武體操	三	三							
藝能科	一	一							
實業科又ハ外國語科	三	三							
軍事科	四	四							
其他學	二	二							
修	三六	三六							
每週授業總時數	三六	三六							

更ニ爲スコト

二 高等女學校

第一、第二學年ニ在リテハ「教育ニ關スル戰時非常措置方策ニ基ク中等學校教育内容措置要綱」ニ依ルコト但シ勤勞員ヲ三箇月以上實施セラレタル場合ニ在リテハ第三學年以上ノ場合ニ準ズルコト

第三學年以上(國民學校高等科修了程度ヲ以テ入學資格トスル學校ノ第一、第二學年ハ之ニ準ズ)ハ「教育ニ關スル戰時非常措置方策ニ基ク中等學校教育内容措置要綱」ノ趣旨ニ則リ概ネ左記ヲ基準トシテ措置スルコト

一 通年勤勞動員ノアリタル場合

- (一) 勤勞時間中一週六時間ヲ原則トシテ授業時ヲ特設スルコト
- (二) 特設授業時ヲ活用シ最少限左ノ事項ニ付重點的ニ要點ヲ課スルコト

家政科 育兒
家政科 保健
救護 實習

每週凡二時

保育 實習

凡每週一時

(三) 特設授業時及其ノ他適當ナル時間ヲ利用シ左ノ教材中ヨリ必要ナルモノヲ適宜選擇シ重點的ニ要點ヲ課スルコト但シ出動教員ノ擔任科目等ノ關係ニ依リ他ノ教科中必要ナル事項ヲ課スルヲ得ルコト

國民科
家政科
理科
體操科

(四) 適宜自學自修ノ指導ヲ爲スコト

二 八箇月以上勤勞動員ノアリタル場合ハ通年勤勞動員ノ場合ニ準ズルモノトシ尙勤勞期間外ニ付テハ三ヲ參照ノ上其ノ實情ニ即シテ適宜措置スルコト

三 六箇月程度勤勞動員ノアリタル場合

左ノ課程ヲ基準トシテ教員ノ組織其ノ他ノ情況ヲ斟酌シ適宜時間ノ配分ヲ行ヒ重點的ニ要點ヲ課スルコト
増課時數ハ必要ト認ムル教科科目ニ適宜配當スルコト

四 四箇月程度勤勞動員ノアリタル場合

「教育ニ關スル戰時非常措置方策ニ基ク中等學校教育内容措置要綱」ニ依リ重點的ニ要點ヲ課スルコト
五 勤勞動員期間外ノ日曜日ハ概ネ隔週毎ニ教科及修練ニ充ツルコト

六 通年勤勞員ニアラザル場合ノ勤勞動員期間中ノ措置ニ付テハ一ニ準ズルコト

七 各學年ノ勤勞動員ノ程度及出動教員ノ擔任科目ヲ勘案シ豫定授業總時數ノ範圍内ニ於テ適宜每週授業時數ノ變更ヲナスコト

三 實業學校

第一、第二學年ニ在リテハ「教育ニ關スル戰時非常措置方策ニ基ク中等學校教育内容措置要綱」ニ依ルコト但シ勤勞動員三箇月以上實施セラレタル場合ニ在リテハ第三學年以上ノ場合ニ準ズルコト

第三學年以上(國民學校高等科修了程度ヲ以テ入學資格トスル學校ノ第一學年以上ハ之ニ準ズ)ハ「教育ニ關スル戰時非常措置方策ニ基ク中等學校教育内容措置要綱」ノ趣旨ニ則リ概ネ左記ヲ基準トシテ措置スルコト

一 通年勤勞動員ノアリタル場合

- (一) 勤勞時間中一週六時間ヲ原則トシテ授業時ヲ特設スルコト

更テ爲スコト

四 女子 實業 學校

第一、第二學年ニ在リテハ「教育ニ關スル戰時非常措置方策ニ基ク中等學校教育内容措置要綱」ニ依ルコト但シ勤勞動員三箇月以上實施セラレタル場合ニ在リテハ第三學年以上ノ場合ニ準ズルコト

第三學年以上(國民學校高等科修了程度ヲ以テ入學資格トスル學校ノ第一學年以上ハ之ニ準ズ)ハ「教育ニ關スル戰時非常措置方策ニ基ク中等學校教育内容措置要綱」ノ趣旨ニ則リ概ネ左記ヲ基準トシテ措置スルコト

一 通年勤勞動員ノアリタル場合

(1) 勤務時間中一週六時間ヲ原則トシテ授業時ヲ特設スルコト

(11) 特設授業時ヲ活用シ最少限左ノ事項ニ付重點的ニ要點ヲ課スルコト

家政科 育児

家政科 保健

實業科

救護實習

保育實習

每週凡三時

每週凡一時

(三) 特設授業時及其ノ他適當ナル時間ヲ利用シ左ノ事項中必要ナルモノヲ適宜選擇シ重點的ニ要點ヲ課スルコト但シ出勤教員ノ擔任科目等ノ關係ニ依リ他ノ教科中必要ト認ムル事項ヲ課スルヲ得ルコト

國民科
實業科
家政科

體 鍊 科

(四) 適宜自學自修ノ指導ヲ爲スコト

二 八箇月以上勤勞動員ノアリタル場合ハ通年勤勞動員ノ場合ニ準ズルモノトシ尙勤員期間外ニ付テハ三ニ準ジ其ノ實情ニ即シテ適宜措置スルコト

三 六箇月程度勤勞動員ノアリタル場合

實業科及家政科ニ重點ヲ置キテ適宜其ノ課程ヲ編成シ重點的ニ要點ヲ課スルコト

四 四箇月程度勤勞動員ノアリタル場合

「教育ニ關スル戰時非常措置方策ニ基ク中等學校教育内容措置要綱」ニ依リ重點的ニ要點ヲ課スルコト

五 勤勞動員期間外ノ日曜日ハ概ネ隔週毎ニ教科及修練ニ充ツルコト

六 通年勤員ニアラザル場合ノ勤勞動員期間中ノ措置ニ付テハ一ニ準ズルコト

七 各學年ノ勤勞動員ノ程度及出勤教員ノ擔任科目等ヲ勘案シ豫定授業總時數ノ範圍内ニ於テ適宜每週授業時數ノ變更ヲ爲スコト

「決戦非常措置要綱ニ基ク中等學校教育内容ニ關スル措置要綱」ニ依ル

生徒ノ成績評定基準

一 勤勞動員ニ於ケル作業ハ之ヲ修練トシテ實施シ別表ニ依リ左ノ事項ニ付記録シ成績評定ノ資料トスルコト

イ 勤勞動員日數ト作業ノ種別

ロ 出勤日數ト缺席ノ事由

ハ 遅刻早退回數

ニ 勤勞作業ニ現レタル成績

生徒勤勞成績記入様式

備考	評	總	五月	四月	月別項目	氏名	
						檢學校印長	擔任者氏名印
狀況績		總勤勞日數員			主たる作業別	出勤	早退
			作業場	缺席	遲到		
評概		出席日數			作業態度其ノ他	缺席	勤勞作業ニ現レタル成績
			缺席日數		概評		

- ※ 其ノ他成績評定ノ資料トナルベキ事項
- 二 學業成績ノ評定ニ付テハ左ノ事項ニ留意スルコト
 - イ 通年勤勞動員實施ノ爲評定困難ナル場合ハ必ズシモ各科目別ニ評定スルコトヲ要セズ教科別ニ評定スルヲ得ルコト
 - ロ 評定ニ當リテハ必ズシモ從來ノ筆答試問等ニ依ルコトヲ要セズ凡ユル機會ノ觀察ヲ綜合シテ成績ヲ評定スルコト
- ハ 實業學校ニ在リテハ特ニ勤勞作業ト實業科トノ一體的關係ニ留意シテ成績ヲ評定スルコト
- 二 學籍簿中ノ「概評」ノ記入ニ付テハ勤勞動員ノ成績ヲ重視スルコト特ニ通年動員ノアリタル場合ハ修練ノ成績ト全教科ノ成績トハ之ヲ同等ニ取扱ヒ之ヲ評定スルコト
- 記入上ノ注意事項
 - 一 昭和十八年七月十二日發國三八〇號「中等學校ニ於ケル學籍簿取扱ニ關スル要項」中ノ「記入要綱」ノ趣旨ニ依リ成ル可ク具體的ニ記入スルコト
 - 二 「概評」欄ハ生徒ノ出席日數、作業態度、作業能率、身體情況等ニ付關係職員ノ所見ヲ綜合シ秀・優・良・可・不可ノ五段階ニ分チ評定記入スルコト
 - 三 「備考」欄ニハ缺席ノ事由其ノ他生徒ノ勤勞ニ關シ參考ニ資スベキ事項ヲ記入スルコト

工場事業場等學徒勤勞動員學校側措置要綱ニ關スル件

(昭和十九年五月十一日總務部長ヨリ地方長官) 勤發一七號

農ニ學徒勤勞動員實施要領並ニ工場事業場等學徒勤勞動員受入側措置要綱ニ付通牒相成タル處今般工場事業場等ニ於ケル

學徒勤勞動員學校側措置ニ關シ別紙ノ通要綱決ニ相成タルニ付之ガ實施ニ萬遺憾ナキヲ期セラレ度此段通牒ス

工場事業場等學徒勤勞動員學校側措置要綱

一方 針

決戦ノ段階ニ鑑ミ決戦非常措置要綱ニ基ク學徒勤勞動員實施要綱ニ依リ學徒盡忠ノ至誠ト教育ノ本義ニ徹スル學徒勤勞動員ノ積極的ニシテ且有效適切ナル運営ヲ圖ルベキ學校側ノ態勢ヲ確立セシムルモノトス

二 要 領

一 出 動 準 備

(一) 學校報國隊ノ出動下命アリタルトキハ學校教職員中ヨリ連絡者ヲ特定シ直チニ受入側ト緊密ニ事前連絡ヲ行フコト

(二) 關係教職員ヲ派遣シ作業場、宿舍等ニ付實施視察ヲ行ハシメタル上受入側專任擔當者ト協力シテ出動スベキ隊員ニ對シ作業ノ種類、内容等ニ付豫備知識ヲ與ヘ且出動ニ關スル所要ノ注意ヲ行フコト

(三) 學徒ニ對シ出動前豫メ身體檢查ヲ實施シ出動ノ適否、從事スベキ作業ヘノ配當等ヲ決定スルコト、但シ身體檢查ハ出動後受入場所ニ於テ實施スルモ差支ナキコト

(四) 學校長ハ出動ニ際シ派遣責任教職員並ニ補助教職員ヲ選定シ之等ノ教職員及出動スベキ學徒ニ對シ所要ノ指示ヲ行フコト

前項ノ派遣教職員ハ概テ隊員五〇名ニ付一名ヲ基準トスルコト

(五) 隊員ノ出動中學校報國隊員タルノ標識ヲ附セシメ且荷モ容儀ヲ紊ルコトナキ様留意セシムルコト

二 一般指導監督

(一) 派遣教職員ハ受入側責任者ノ協力ヲ受ケ學徒ノ教育訓練ニ遺憾ナカラシムルコト

(二) 學徒ヲシテ常ニ生産ノ國家的意義ヲ自覺シ一般從業員ト協力一致勤勞ニ挺身セシムルト共ニ獻身奉公、盡忠報國ノ至誠ヲ傾倒セシムル様指導ノ徹底ヲ期スルコト

(三) 特ニ國防施設事業、軍關係工場等ニ關シテハ機密ノ保持、防諜ニ留意シ隊員ヲシテ作業内容、生産量等機密ニ關スル事項ニ付絕對漏洩ノコトナキ様嚴重ニ指導監督スルコト

三 勤勞協力ニ關スル指導監督

(一) 學徒ノ出缺、勤怠、志氣ノ昂揚其ノ他精神指導並ニ身分上ノ監督ハ受入側專任擔當者ト緊密ナル連絡ノ下ニ派遣責任教職員之ヲ行フコト

(二) 學徒ノ作業上ノ指導並ニ就業時間、休憩、休日、危害防止等ニ關スル勤勞管理上ノ指導監督又ハ受入側作業指導者之ヲ行フモノナルニ付派遣責任教職員ハ之ト協力スルコト

(三) 勤勞開始ニ當リテハ作業ノ種類ニ應ジ出來得ル限り一定ノ教育訓練期間ヲ設クル様受入側ト協議シ派遣責任教職員ヲシテ受入側指導者ト一體トナリ作業並ニ勤勞生活ニ慣レシムル様指導スルコト

四 勤 務

(一) 同一學校報國隊ノ隊員ハ成ルベク集團シテ同一作業場ニ於テ作業セシムル様受入側ト協議シ已ムヲ得ズ作業場所ヲ分ツ場合ニハ之ニ應ズル部班組織ヲ編成シ勤務セシムルコト

(二) 派遣責任教職員ハ受入側專任擔當者ト協議シ弱體者ニ對シテハ特別ノ部班ヲ組織シ適當ナル勤勞ニ服セシムル様措置セシメ之ガ養護ニ遺憾ナカラシムルコト

五 災害ノ防止、疾病ノ豫防並ニ災害疾病ノ措置

(一) 隊員ノ安全教育ヲ徹底スルト共ニ常ニ作業指導者ト協力シ災害防止ニ力ムルコト

- (二) 常ニ學徒ノ疲勞其ノ他心身ノ狀況ニ留意シ疾病ノ豫防、事故ノ防止ニ力ムルコト
- (三) 隊員死亡其ノ他重大ナル事故ハ直チニ監督官廳及父兄ニ報告スルコト

六 宿 泊

- (一) 宿泊ノ場合ハ必ず派遣責任教職員附添ノ上宿泊スルコト
- (二) 宿泊時ニ於ケル學徒ノ生活訓練ハ派遣責任教職員之ヲ擔當スルコト
- (三) 宿泊中ハ特に保健、衛生、風紀等ニ付留意シ團體生活ノ修練ヲ積マシムル様指導スルコト

七 報 價 經 理

- (一) 學徒ノ勤勞ニ對スル報價ハ學校報國隊ノ協同業績ニ對スルモノナルヲ以テ一括學校報國隊ニ於テ收納スルコト報價ハ工場事業場等學徒勤勞員受入側措置要綱ニ示サレタル基準ニ據ルモノナルコト
- (二) 勤勞期間中ニ於ケル學徒ノ授業料、其ノ他教育上學徒ヨリ徴收スル經費ハ報價金中ヨリ徴收シ得ル範圍ニ於テ之ヲ徴收スルコト、但シ勤勞期間一月月ニ滿タザル場合ハ此ノ限ニ在ラザルコト
- (三) 前號ノ經費ヲ控除シ殘餘アル場合ハ別表ノ標準ニヨリ學校報國隊長勤勞員學徒ニ之ヲ交付シ尙殘餘アル場合ハ差當リ學校報國隊ニ於テ之ヲ保管シ其ノ處置ニ付テハ別途之ヲ指示スルコト
- (四) 報價ハ學校報國隊ノ特別會計トシテ之ヲ經理ノ爲專任擔當者ヲ選任シ其ノ出納明細書ヲ作成セシメ之ヲ經理ヲ適正ナラシムルコト
- (五) 報價經理ハ毎年一月及六月文部省又ハ地方廳ニ其ノ收支明細書ヲ報告スルコト
- (六) 文部省及地方廳ハ報價經理ニ關シ隨時實地監査ヲ行フモノナルコト

八 其 ノ 他

學校長ハ學徒ノ養護ニ付派遣責任教職員ヲシテ受入側ト專任擔當者ト連絡シ周到ナル注意ヲ拂ハシムルト共ニ勤勞

協力期間中受入側ヲシテ定期ニ續續ニ重點ヲ置ク身體檢査ヲ實施シ其ノ結果ニ基ク勤勞養護ノ一體的取扱ノ適正ヲ期スルコト

別 表

勤勞員學徒ニ對スル支給金額基準

大專高等專門學校	月 參拾圓	但シ寄宿舍等ニ宿泊スル者ニ付テハ合費ヲ含ム
中等學校	月 貳拾五圓	但シ寄宿舍等ニ宿泊スル者ニ付テハ合費ヲ含ム

領綱の新維教文
 出版會承認 う230142
 發行部數 3000



昭和十九年三月廿五日 印刷
 昭和十九年四月一日 發行
 昭和十九年九月十五日 訂正
 増補二版發行

定價四圓五十錢 實價四圓八十錢
 發行部 三十錢

著者 文部省
 編輯者 文政研究會
 發行所 松川健文
 發行部 東京都神田區神田三ノ八七
 印刷所 明文舎印刷所
 印刷部 東京都神田區神田三ノ八七

發行所 東京都神田區
 西神田三丁目二十一
 新紀元社
 東京都神田區美路町二
 日本出版配給株式會社

28271

日本教育學會編

教育學論集

第三輯

A5判四二四頁
價 三・五〇
千 三〇

全國の教育學研究者を以て組織する日本教育學會第三回研究發表會に於てなせる十四名の眞摯なる良心的研究を収録せるもので我國教育改善のため大いに示唆に富む貴重文獻。

北京國立新民學院
教授山口喜一郎著

日本語教授法原論

A5判四二四頁
價 五・八〇
千 四〇

本書は著者の二十餘年に亘る外地に於ける實際的體驗を基礎としたる日本語教授法研究の成果にして臺灣、朝鮮、關東州、滿洲、支那、南方各地域に於て日本語教授法の權威と仰がれるその基礎をなしてゐる。國語教育に挺身される方は勿論一般教育者に必讀の書。

文政研究會編

新學制下の進學指導

B6判二六四頁
價 二・一〇
千 三〇

本書は文部省國民教育局監修になる入學考査法の懇切丁寧なる解説書である。新學制下の進學指導は如何に爲すべきか？ 兒童の訓育に備へて父兄必讀の書。





